

宇和島市地域公共交通計画策定までのスケジュール(案)

業務項目	令和5年					令和6年			備考
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 現行計画の評価・検証		評価・分析							
(2) 地域の現状把握及び上位・関連計画の整理		データ整理							
(3) 交通の概況及び公共交通の現状整理		データ整理							
(4) 利用実態調査及び市民・関係者への意識調査等の実施									
1. 市民ニーズ等の把握			準備	アンケート	結果分析				
2. 公共交通に係る関係者への意識調査			準備	ヒアリング	結果分析				
(5) 宇和島市の公共交通に係る問題点・課題の整理				課題整理					
(6) 宇和島市地域公共交通計画(素案)の作成						計画(素案)の作成			
(7) 協議会、パブリックコメント等の運営支援									
1. 協議会等の運営支援				①			②	③	2回程度(必要に応じて追加する)
2. パブリックコメントの実施支援							パブリックコメント		
(8) 宇和島市地域公共交通計画(案)の取りまとめ						計画(案)の取りまとめ			
(9) 打合せ・協議		○	○			○	○	○	
(10) 報告書の取りまとめ								報告書の取りまとめ	

宇和島市の地域の現状及び上位・関連計画

目 次

1. 宇和島市の現況	1
1.1. 位置・地勢.....	1
1.2. 人口.....	2
1.2.1. 市全体人口.....	2
1.2.2. 地区別人口.....	3
1.2.3. 人口の分布状況.....	4
1.2.4. 高齢者の分布状況.....	5
1.2.5. 通勤・通学の状況.....	6
1.3. 土地利用.....	7
1.4. 主な施設の分布.....	8
1.5. 観光の状況.....	10
1.5.1. 観光資源の分布状況.....	10
1.5.2. 観光客数.....	12
1.6. 財政の状況.....	13
1.6.1. 歳入の状況.....	13
1.6.2. 歳出の状況.....	13
1.7. 運転免許証の返納者.....	14
2. 宇和島市が目指すまちづくりの方向性	15
2.1. 第2次宇和島市総合計画.....	15
2.2. 第2期宇和島市総合戦略.....	16
2.3. 宇和島市都市計画マスタープラン.....	17
2.4. 宇和島市立地適正化計画.....	18
2.5. 宇和島市DX推進計画.....	19
2.6. 愛媛県地域公共交通網形成計画.....	20
2.7. 愛媛県南予地域公共交通利便増進実施計画.....	21

1. 宇和島市の現況

1.1. 位置・地勢

- 本市は愛媛県の西南部（南予地方）に位置し、北は西予市、東は鬼北町・松野町、南は愛南町と高知県四万十市・宿毛市に接しています。
- 西側は宇和海に面し、入り江と半島が複雑に交錯したリアス式海岸が続き、5つの有人島と多くの無人島がある一方、他の三方は山地に囲まれ、急峻な地形を有しています。
- 市域面積 468.19km² と県下第4位の広さです。

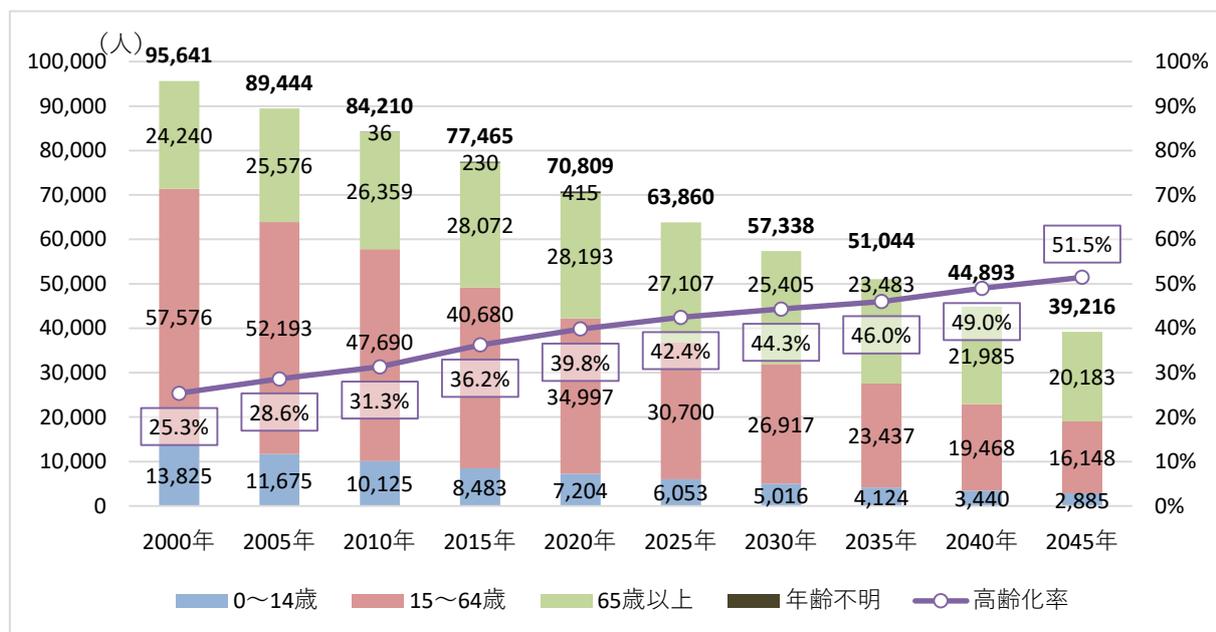


図 1 宇和島市の位置・地勢

1.2. 人口

1.2.1. 市全体人口

- 2020年国勢調査では人口が70,809人、高齢化率は39.8%で、人口減少と高齢化が続いています。
- 人口推計によると、2045年には人口が2020年の約半数の39,216人、高齢化率も50%を上回ると予測されています。



資料：国勢調査（2000年～2020年）、日本の地域将来推計人口（2018年推計 国立社会保障・人口問題研究所）

図 2 宇和島市の人口・高齢化率の推移

1.2.2. 地区別人口

- 各地区で2000年の人口と比較すると、約2~3割前後人口が減少しています。
- 特に吉田地区・津島地区では、人口減少のスピードが他の地区より早くなっています。

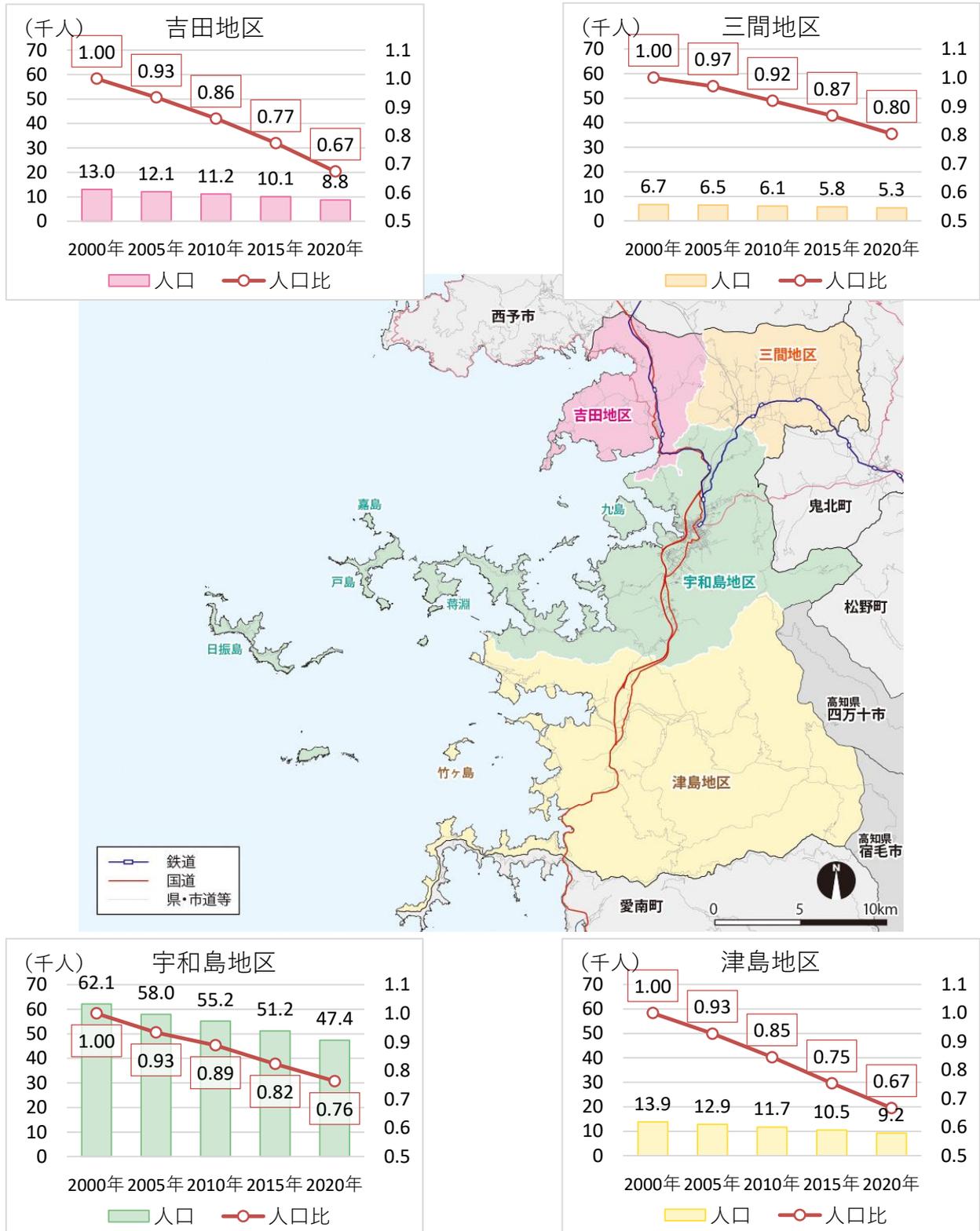
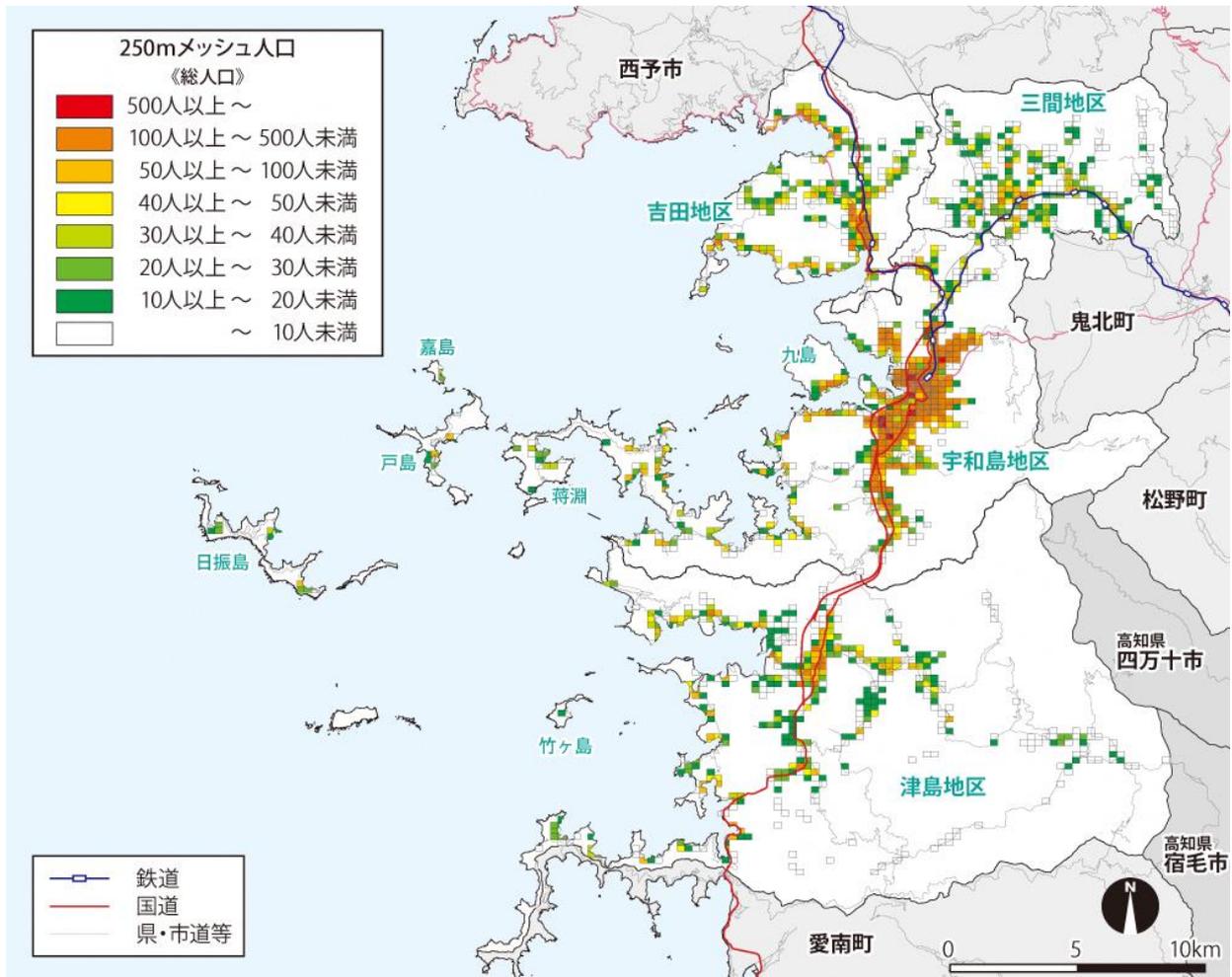


図3 宇和島市の地区別の人口の推移

1.2.3. 人口の分布状況

- 海に面した宇和島地区、吉田地区、津島地区では、海と山に囲まれたわずかな平野部に人口の集積が見られる一方、沿岸部にも分散的に人口が分布しています。
- 三間地区では、周囲を山々に囲まれた盆地に分散的に人口が分布しています。
- 日振島、嘉島、戸島など、宇和海の一部の離島にも人口が分布しています。

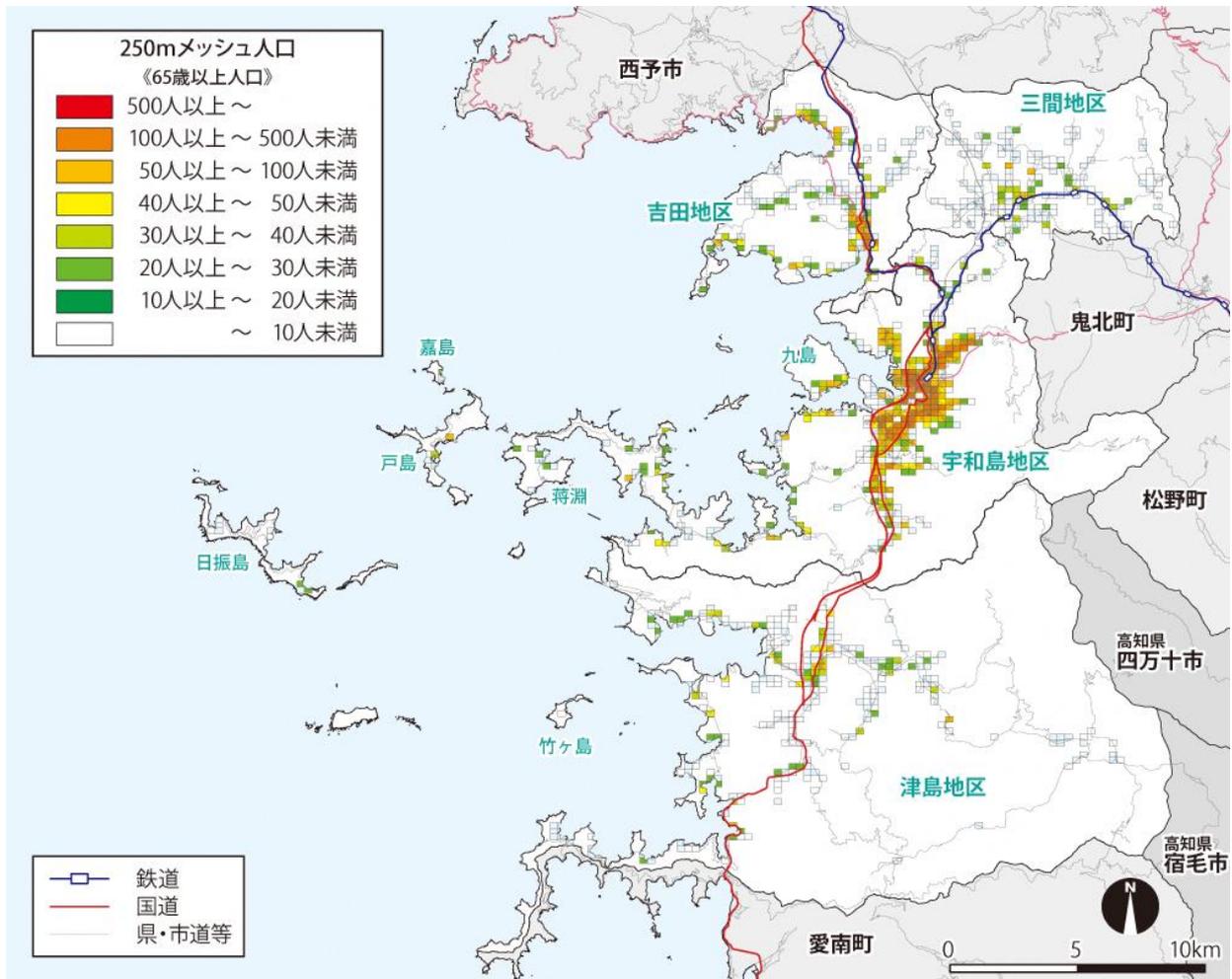


資料：国勢調査（2020年）

図 4 宇和島市の人口分布

1.2.4. 高齢者の分布状況

- 本市の高齢化率は、各地区の周辺部で比較的高い傾向となっており、幹線道路沿いなどの人口が集中している地域では相対的に高齢化率が低くなっています。

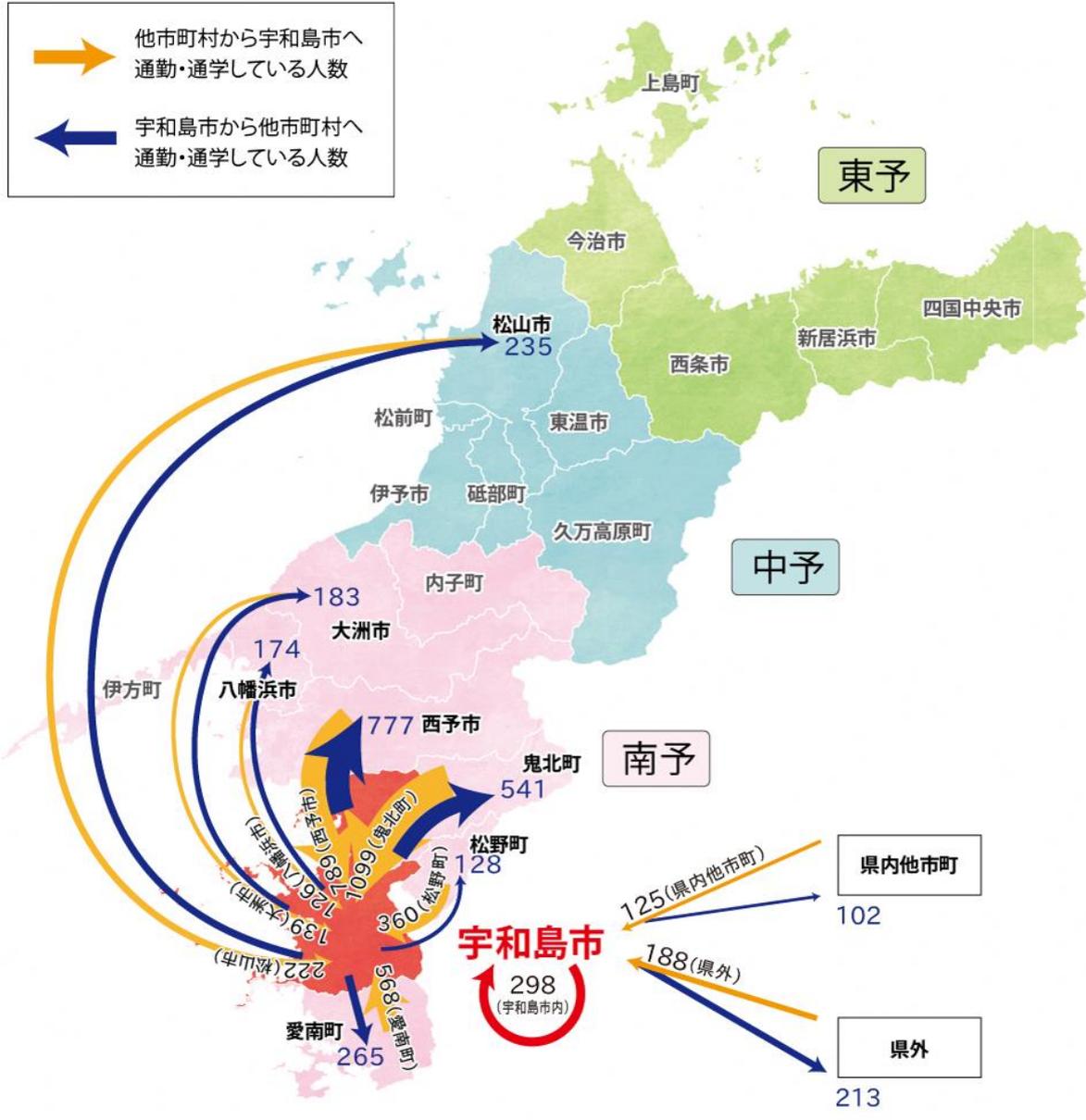


資料：国勢調査（2020年）

図 5 宇和島市の高齢者の分布

1.2.5. 通勤・通学の状況

- 隣接する西予市や鬼北町との間で多くの移動が見られます。
- 八幡浜市や大洲市、松山市などとの間で広域的な移動も一定数存在しています。



資料：国勢調査（2020年）

図 6 市内外への通勤・通学流動

1.3. 土地利用

- 宇和島地区の中心部など、人口が集積している地域では、建物用地が多く見られます。
- 稲作が盛んな三間地区では田が、柑橘類の栽培が盛んな宇和島地区沿岸部や吉田地区では、その他の農用地が多く見られます。
- 津島地区は山に囲まれていることから、大部分が森林となっています。

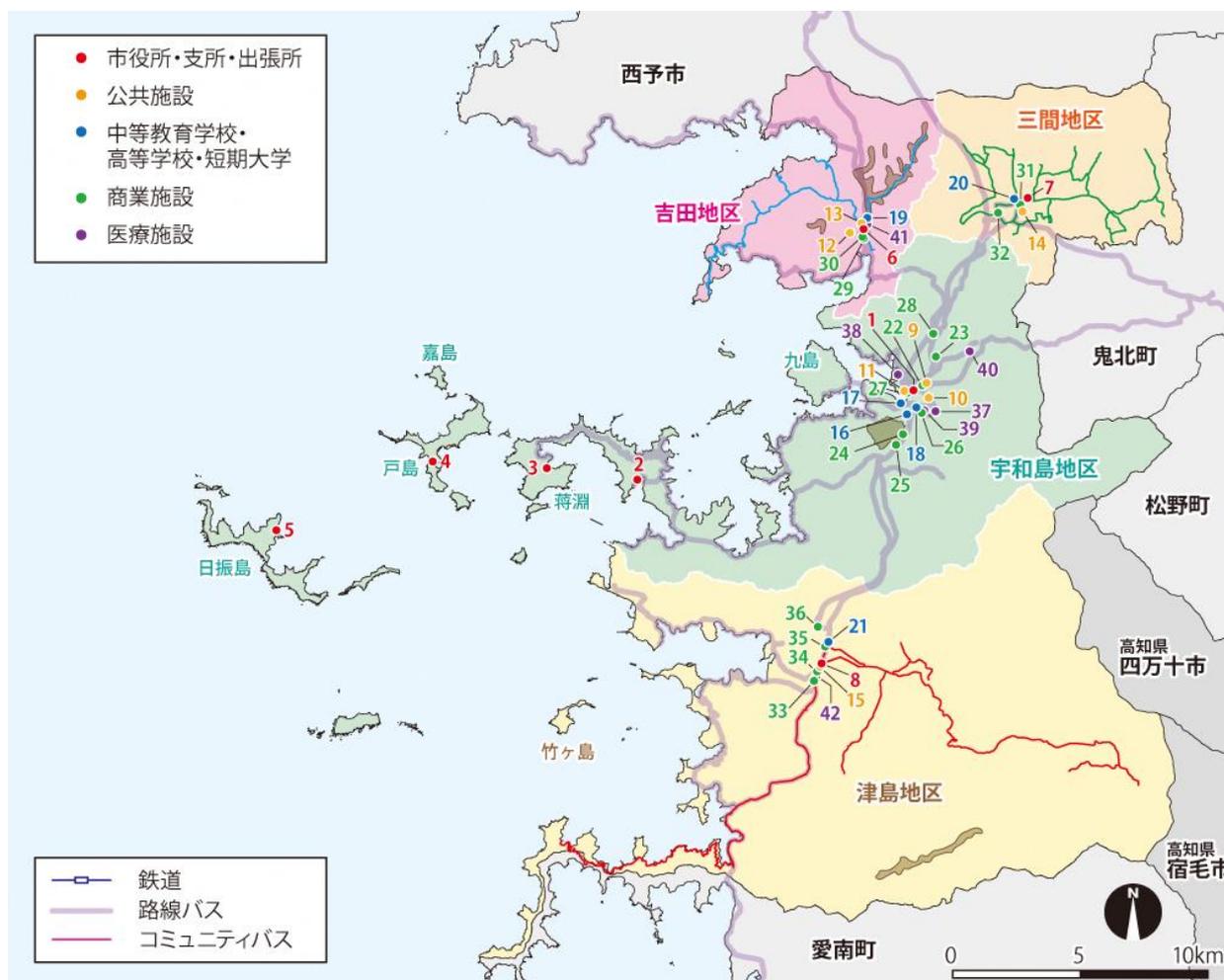


資料：国土数値情報 2021年度土地利用細分メッシュ

図 7 宇和島市の土地利用の状況

1.4. 主な施設の分布

- 宇和島地区の中心部には、国道 56 号（宿毛街道）に沿って带状に多くの機能集積が見られます。
- 吉田地区、三間地区、津島地区では、各地区の中心部に一定の機能集積が見られます。



資料：宇和島市 HP（本庁・支所、学校）と過年度アンケート（目的施設：公共・商業・医療施設）より作成

図 8 宇和島市の主な施設分布

表 1 主な施設一覧

No	区分	地区	名称
1	市役所・支所・出張所 (8)	宇和島	宇和島市役所
2		宇和島	宇和海支所
3		宇和島	宇和海支所蔭淵出張所
4		宇和島	宇和海支所戸島出張所
5		宇和島	宇和海支所日振島出張所
6		吉田	吉田支所
7		三間	三間支所
8		津島	津島支所
9	公共施設 (7)	宇和島	パフィオうわじま
10		宇和島	市立南予文化会館
11		宇和島	総合体育館
12		吉田	吉田町ふれあい運動公園
13		吉田	簡野道明記念吉田図書館
14		三間	市立コスモスホール三間
15		津島	中央図書館 津島分館
16	中等教育学校・高等学校 (6)	宇和島	県立宇和島南中等教育学校
17		宇和島	県立宇和島水産高等学校
18		宇和島	県立宇和島東高等学校
19		吉田	県立吉田高等学校
20		三間	県立北宇和高等学校三間分校
21		津島	県立宇和島東高等学校津島分校
22		宇和島	フジ宇和島店
23	商業施設 (15)	宇和島	フジグラン北宇和島
24		宇和島	フジ 宇和島南店
25		宇和島	エースワン宇和島店
26		宇和島	サンシャイン宇和島店
27		宇和島	道の駅きさいや広場
28		宇和島	ドラッグストアコスモス宇和島北店
29		吉田	フジ吉田店
30		吉田	きなはいや三万石 (吉田観光物産センター)
31		三間	A コープみま店
32		三間	道の駅みま
33		津島	ダイレックス伊予津島店
34		津島	A コープつしま店
35		津島	ドラッグセイムス宇和島津島店
36		津島	道の駅津島やすらぎの里
37		宇和島	ジェイコー宇和島病院
38	医療施設 (6)	宇和島	宇和島徳洲会病院
39		宇和島	市立宇和島病院
40		宇和島	正光会宇和島病院
41		吉田	市立吉田病院
42		津島	市立津島病院

1.5. 観光の状況

1.5.1. 観光資源の分布状況

- 宇和島地区の中心部は、江戸時代に伊達家十万石の城下町として栄えたこともあり、宇和島城をはじめとする歴史的観光資源が多数点在しています。また、半島部や離島では美しい海岸線や宇和海での真珠養殖・釣りなどの観光資源が点在し、体験型観光地となっています。
- 北部の吉田地区では伊予吉田藩の町並みが復元・保存されている国安の郷やミカン畑が広がり、三間地区ではお米や野菜などの産直品販売や美術館が併設されている道の駅みま、四国通路の札所など、歴史と芸術、自然など、観光資源が分布しています。
- 南部の津島地区は海の幸・山の幸が豊富で、渓谷や温泉、キャンプ場や牧場など、幅広いレクリエーションが楽しめる拠点が広く点在しています。



資料：宇和島市ガイドマップ（R5.2）、宇和島本（R5.4）より作成

図 9 宇和島市の主な観光資源

表 2 観光資源一覧

No	地区	名称
1	宇和島 (16)	宇和島城
2		観光情報センター・シロシタ
3		天赦園
4		伊達博物館
5		歴史資料館
6		和霊神社
7		多賀神社
8		市営闘牛場
9		道の駅きさいや広場
10		宇和津彦神社
11		遊子水荷浦の段畑
12		九島
13		日振島
14		鬼ヶ城山
15		滑床溪谷
16		真珠会館
17	吉田 (6)	吉田ふれあい国安の郷
18		南四国ファーム
19		ふれあい運動公園
20		吉田観光物産センター
21		大楽寺
22		大乘寺
23	三間 (7)	道の駅みま
24		旧毛利家庄屋
25		第四十一番札所龍光寺
26		第四十二番札所仏木寺
27		三間運動公園
28		中山池自然公園
29		穴が滝自然公園
30	津島 (10)	道の駅津島やすらぎの里
31		南楽園
32		南レクオートキャンプ場
33		山本牧場
34		祓川温泉
35		津島プレーランド
36		嵐坂ポケットパーク風園
37		由良神社
38		満願寺
39		横吹溪谷

1.5.2. 観光客数

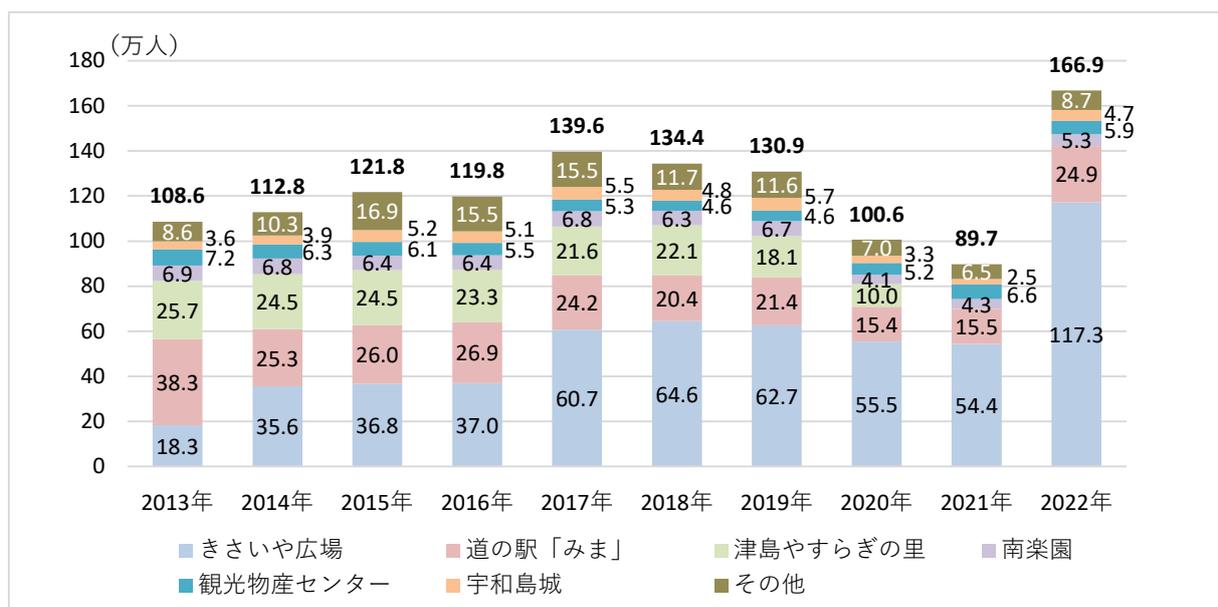
- 毎年、7月22日～24日に南予最大の夏祭りの一つ「うわじま牛鬼まつり」が開催され、市内外から大勢の人が訪れます。
- 観光客はコロナ禍の2020～2021年を除き、毎年250万人／年程度で、大半が日帰り客となっています。



資料：宇和島市資料

図 10 観光客数の推移

- きさいや広場は最も集客数の高い施設であり、特に2022年は「えひめ南予きずな博」があり、約117万人の観光客が訪れています。



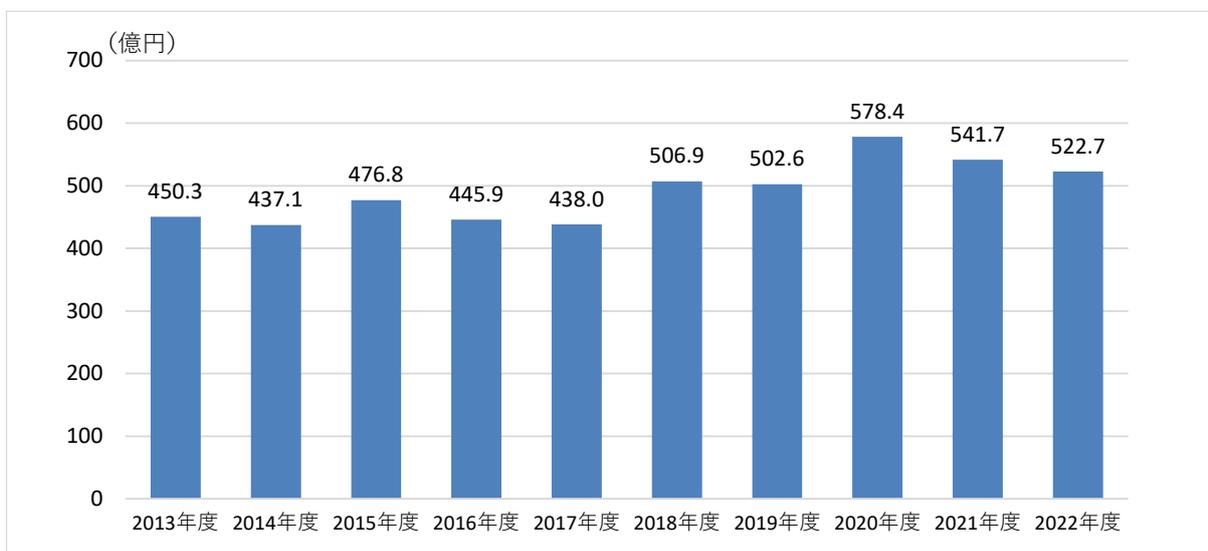
資料：愛媛県庁/観光客数とその消費額
注：津島やすらぎの里は、2021年以降のデータ無

図 11 主要観光資源別の観光客数の推移

1.6. 財政の状況

1.6.1. 歳入の状況

- 市の歳入は、2013～2022 年度まで増加傾向で推移しています。

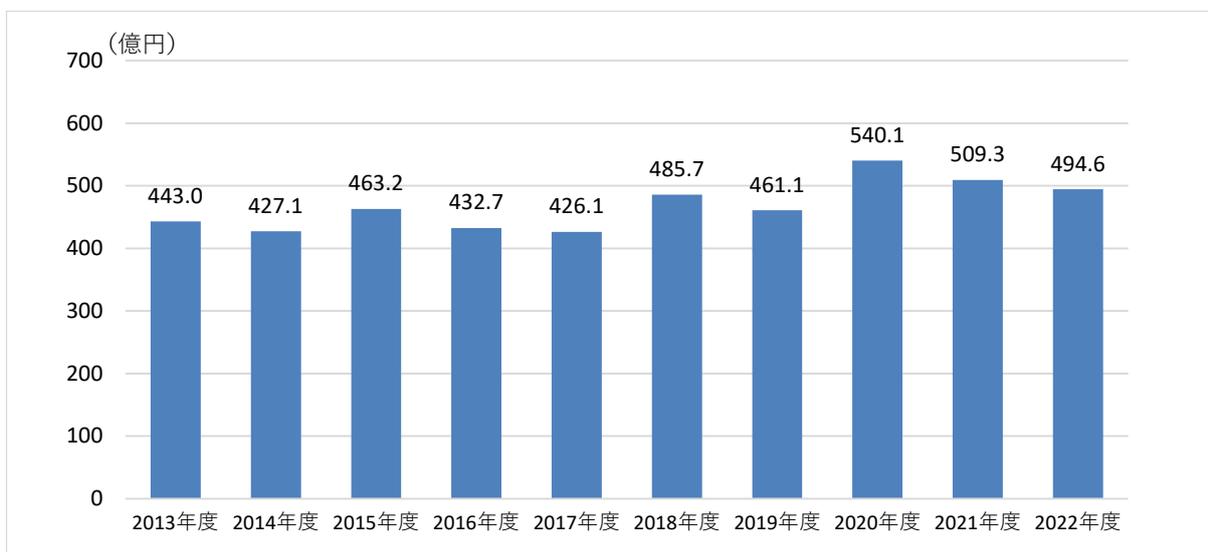


出典：総務省決算カード（2013 年度-2021 年度）、宇和島市（2022 年度）

図 13 歳入の推移

1.6.2. 歳出の状況

- 市の歳出は、2013～2022 年度まで増加傾向で推移しています。

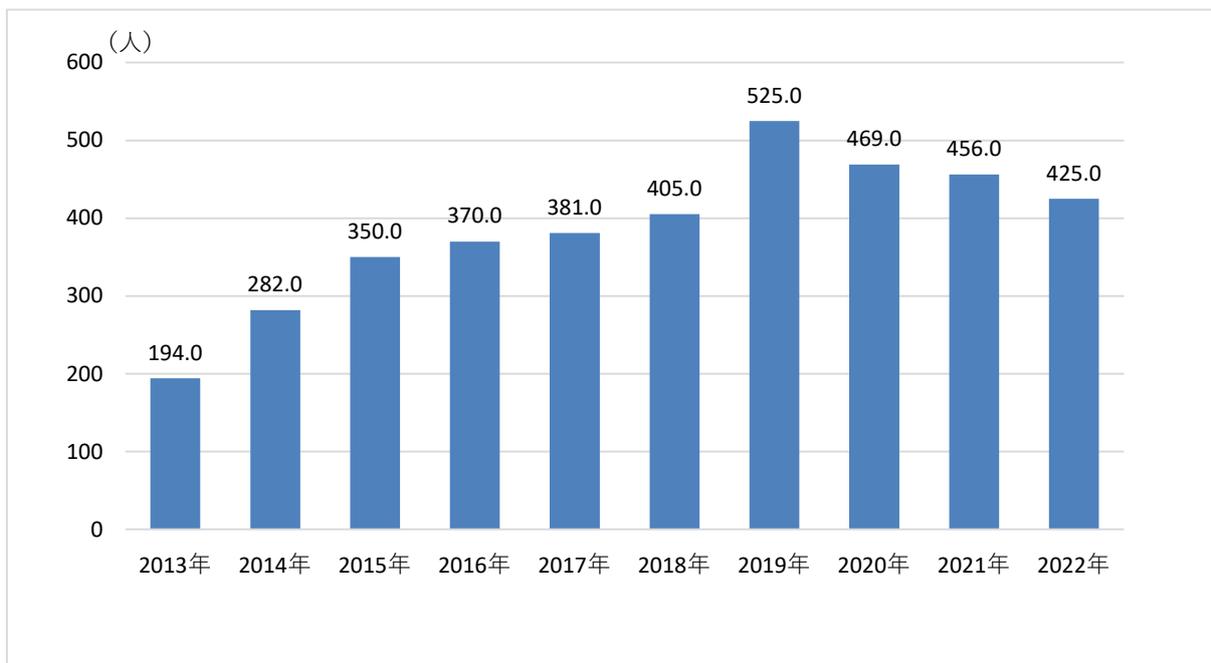


出典：総務省決算カード（2013 年度-2021 年度）、宇和島市（2022 年度）

図 14 歳出の推移

1.7. 運転免許証の返納者

- 市の運転免許証の自主返納者数は、2019年の525人をピークに増加傾向を示しています。



出典：宇和島警察署

図 15 運転免許証返納者数の推移

2. 宇和島市が目指すまちづくりの方向性

2.1. 第2次宇和島市総合計画

- 「第2次宇和島市総合計画 後期基本計画」(2023.4)の目指すべき将来像は、第2次宇和島市総合計画基本構想に基づき、引き続き「継承・共育・発信のまち ～世代を超えて、自然を愛し、歴史を誇る ふるさとうわじまの実現を目指して～」としています。
- 公共交通は「政策目標4 住みよさ」に位置付けられており、市街地の整備においては、「地域公共交通の維持等により生活利便性の確保を図る「コンパクト・プラス・ネットワーク※」のまちづくりを目指し、魅力的かつ持続可能な市街地形成を計画的に進める」とされています。

※コンパクト・プラス・ネットワーク：居住や都市機能を集約した複数の拠点の公共交通でつなぐまちづくり
- また、「道路・交通網、港湾の整備」においては、「市民の安全性・利便性の向上を図るため、市内道路網の計画的な整備及び公共交通機関の充実と港湾の整備を進める」とされています。

目指すべき将来像

継承・共育・発信のまち

～世代を超えて、自然を愛し、歴史を誇る

ふるさとうわじま実現を目指して～

施策の体系

<p>政策 目 施策</p> <p>標 1</p> <p>にぎわい</p> <p>豊かな資源と魅力あふれる産業 人にぎわううわじま</p> <p>・農林業の振興 ・水産業の振興 ・商工業の振興</p> <p>・観光の振興 ・雇用対策と勤労者福祉の充実 ・移住・定住の促進</p>	<p>政策 目 施策</p> <p>標 4</p> <p>住みよさ</p> <p>暮らしやすく集いやすい 便利で安全なまち 住みよいうわじま</p> <p>・計画的な土地利用の推進 ・市街地の整備 ・景観の形成</p> <p>・住宅施策の推進 ・道路・交通網、港湾の整備 ・デジタル化の推進</p>
<p>政策 目 施策</p> <p>標 2</p> <p>思いやり</p> <p>だれもが充実した人生を過ごせる 思いやりのまち うわじま</p> <p>・健康づくり・医療体制の充実 ・地域福祉の充実 ・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実</p> <p>・高齢者支援の充実 ・障がい者支援の充実 ・社会保障の充実</p>	<p>政策 目 施策</p> <p>標 5</p> <p>学びあい</p> <p>すべての人がよく学び 新たな時代を語り合う 学びあううわじま</p> <p>・学校教育の充実 ・生涯学習の充実 ・スポーツの振興 ・文化芸術の振興と文化財の保存・整備・活用</p> <p>・青少年の健全育成 ・国際化・地域間交流の推進</p>
<p>政策 目 施策</p> <p>標 3</p> <p>支えあい</p> <p>美しい自然とともに生き 快適さと安全が両立する 支えあううわじま</p> <p>・環境自治体の形成 ・水道の整備 ・下水道の整備 ・廃棄物処理体制の充実 ・墓地・斎場の整備</p> <p>・公園の整備と緑化の推進 ・消防・防災体制の充実 ・交通安全・防犯体制の充実 ・消費者対策の充実</p>	<p>政策 目 施策</p> <p>標 6</p> <p>共に歩む</p> <p>すべての人が尊重され 市民と行政が共に歩む うわじま</p> <p>・人権尊重社会の確立 ・男女共同参画社会の形成 ・コミュニティの育成</p> <p>・市民協働のまちづくりの推進 ・自立した公共経営の推進</p>
	<p>政策 目 施策</p> <p>標 7</p> <p>つなぐ</p> <p>ともにつなぎ、ともに創ろう、 未来咲くふるさとうわじま</p> <p>・すまいとくらしの再建 ・安全な地域づくり ・産業・経済の復興</p>

2.2. 第2期宇和島市総合戦略

- 「第2期まち・ひと・しごと創生宇和島市総合戦略」(2020.3)の目指すべき将来の方向性は、第1期宇和島市総合計画に基づき、引き続き「人や地域、まちが元気になる魅力的なうわじまづくり」としています。
- 公共交通は「基本目標4 市民と地域の力を強化した、持続可能なまちづくり」に位置付けられ、「施策2：ブルーゾーン※うわじまの実現」に関わる、高齢になっても健康で生き生きと暮らすことができる健康長寿のまちづくりの推進に寄与するものと考えられています。

※ブルーゾーン：健康で長寿な人々が数多く居住する地域の総称

宇和島市の目指すべき将来の方向性

人や地域、まちが元気になる魅力的なうわじまづくり

4つの基本目標

基本目標1 地域特性を活かした産業・経済の活性化と雇用の場の創出

人口減少や地域経済縮小の克服には、安定した雇用や収入の確保が必要です。本市の地域特性を活かし、事業者・行政・大学等の教育機関・住民が一体となった取り組みを通じて、若年世代をはじめ、多くの人が安心して働くことができる環境整備と雇用の創出を目指します。

基本目標2 魅力の発信による「住みたい・行きたい・帰りたい」の実現

首都圏在住者や宇和島出身者を対象とした魅力の発信を積極的に行い、関係人口・交流人口の創出、外部人材の獲得を図るとともに、特に若年世代のUターンを意識した人材の育成と確保に取り組みます。

基本目標3 結婚の希望をかなえ、安心して子どもを産み育てることができる環境の充実

人口減少抑制や人口回復のためには、若い世代を中心とした市民の結婚や出産、子育ての希望をかなえることが重要です。官民一体となり、出会い・結婚・妊娠・出産・育児という、5つのステージに立つすべての方々へ支援を届けることを目指します。

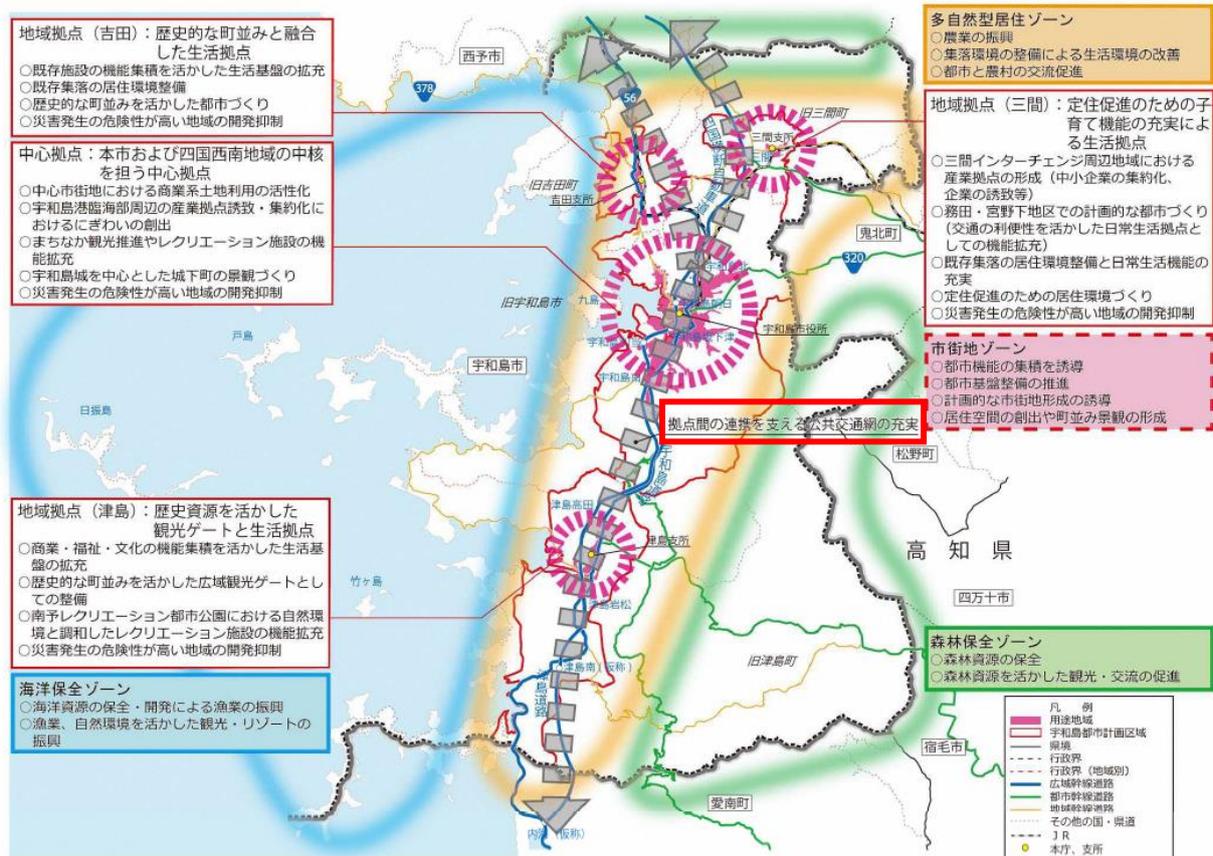
基本目標4 市民と地域の力を強化した、持続可能なまちづくり

「地域共生社会」の実現を目標として、市民一人一人の健康づくりを推進します。また、希薄になりがちな地域コミュニティを高めるため、持続可能なまちづくりを推進するとともに、地域の支え手の育成と、活躍の場を求める移住者のマッチングの促進を行います。

2.3. 宇和島市都市計画マスタープラン

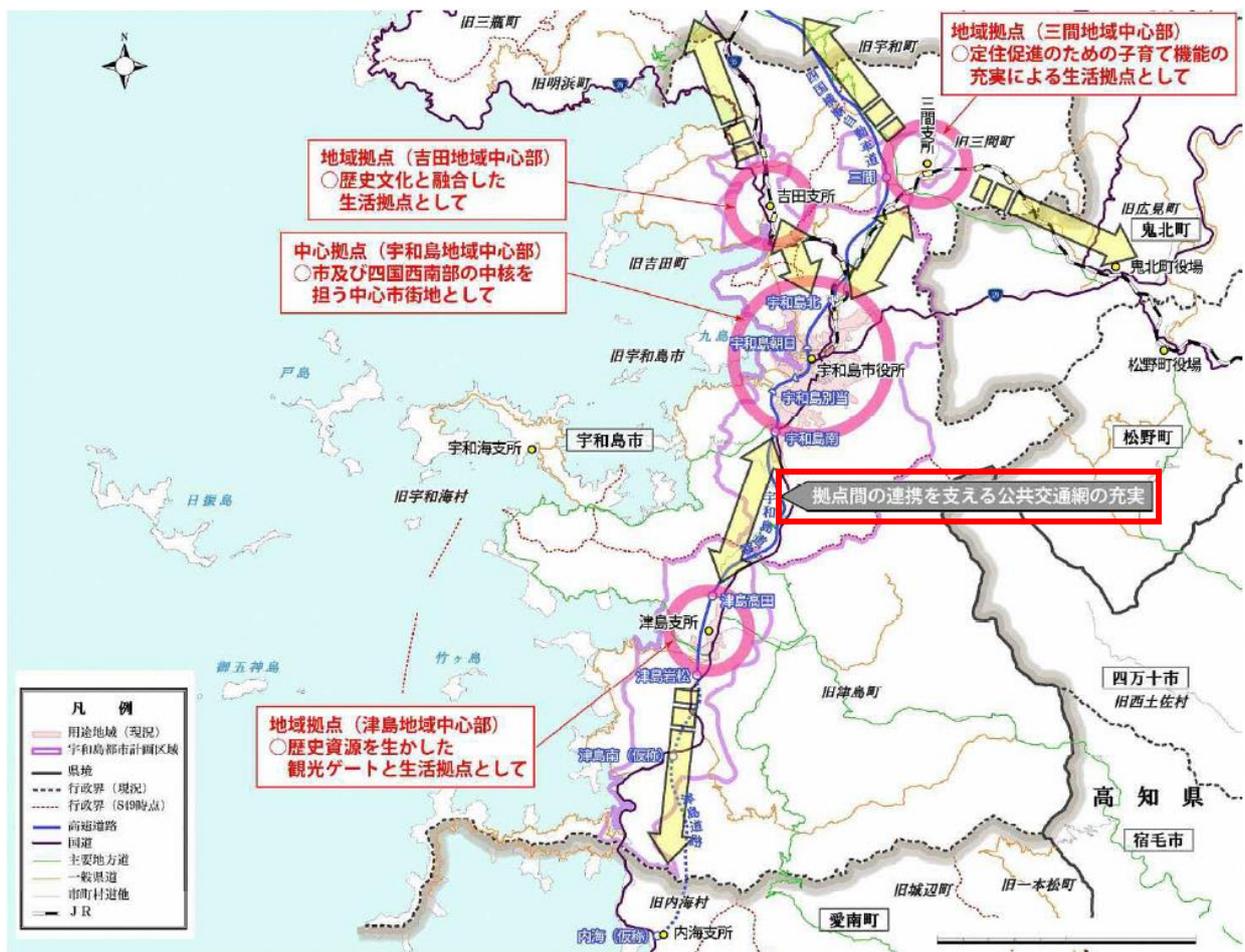
- 「宇和島市都市計画マスタープラン」(2022.2)の都市づくりの基本理念は、上位・関連計画による位置づけと役割を踏まえ、「地域の特性とコミュニティ力を活かした安全で安心にずっと暮らせる都市づくり」としています。
- 公共交通は、4つの都市づくりの基本的方向のうち「四国西南地域の中核を担う都市機能が集積したコンパクト・プラス・ネットワークの都市づくり」の中で、「すべての市民が徒歩で生活できるように、中心拠点や地域拠点と集落を結ぶ鉄道、バス等の公共交通の再編や見直しを進めることで、都市機能への利便性を高めるコンパクト・プラス・ネットワークの都市づくりを進める」とされています。
- また、都市施設整備の方針として「公共交通の充実・強化」において、「高齢者や子ども、障がい者を支える重要な移動手段である公共交通については、観光客の移動確保や地球環境の保全等も考慮し、ネットワークの形成と利用促進を図るとともに、市民に利用のメリット等を意識づけし、需要を創出するよう努める」とされています。
- 将来都市構造では、「拠点間の連携を支える公共交通網の充実」を図る連携軸として位置づけられています。(下図参照)

■将来都市構造図



2.4. 宇和島市立地適正化計画

- 「宇和島市立地適正化計画 計画書（改訂版）」（2021.9）は、中心拠点や生活拠点などを公共交通で結ぶコンパクトシティ・プラス・ネットワークの都市構造を構築し、市街地の人口密度を保ちつつ、安全で安心でき、健康で快適に暮らせる持続可能な都市づくりを進めるために策定されています。
- 本計画は都市計画マスタープランの一部であるため、その基本的方向を継承しつつ、公共交通については「人口密度の維持及び生活利便性の維持・充実」の中で、「誰もが公共交通を利用することで、歩いて生活できるように、中心拠点・地域拠点と集落などを結ぶ鉄道・バスなどの公共交通の再編や見直し及び歩道整備などにより、効率的で持続可能な公共交通システムの維持・確保や歩行空間の整備を進める」としています。
- 目指すべき将来都市構造でも都市計画マスタープランをもとに、拠点及び公共交通連携軸を設定し、これを基本として拠点連携型の都市の実現を図るとされています。（下図参照）



2.5. 宇和島市 DX 推進計画

- 「宇和島市DX推進計画」(2022.2)は、宇和島市総合計画の分野別計画であり、行政デジタル化などを推進するとともに、総合計画で定めるまちづくりの基本的方向に沿って、市の施策の展開を協力を後押しするものとして策定されています。
- 計画では、下記9分野においてDXを推進することで、まちの魅力を高め「選ばれるまち」を目指しており、地域社会の「①生活・支援 ～誰もが利便性を実感できる暮らし～」の中で、個別分野として公共交通は位置付けられています。
- 公共交通の取組として「市民生活に欠かせない身近な交通手段である公共交通について、デジタル技術を有効に活用し、より利用しやすい環境の整備を図ります」としています。

地域社会	行政
①生活・支援 ～誰もが利便性を実感できる暮らし～ <small>(情報通信基盤、デジタル・バインド対策、障がい者支援、広報、公共交通、環境)</small>	⑦行政手続 ～簡単・便利な行政サービスの提供～ <small>(オンライン化の推進、窓口サービスの向上)</small>
②健康・子育て ～健やかに生活と子育てができる暮らし～ <small>(健康づくり、母子支援、子育て支援)</small>	⑧行政事務 ～働きやすく生産性の高い市役所づくり～ <small>(業務の効率化、勤務環境の整備)</small>
③教育・学習 ～共育で人・つながり・地域づくり～ <small>(学校教育、生涯学習、文化・スポーツ)</small>	推進基盤
④リスク対応 ～的確なリスク対応による安全な暮らし～ <small>(防災・減災、感染症対策)</small>	⑨推進基盤 ～変化に迅速・柔軟に対応できるDX推進基盤の構築～ <small>(庁内の体制強化、市民協働・庁外連携)</small>
⑤産業・経済 ～産業振興による地域活性化～ <small>(農林水産業、商工観光)</small>	※ () 内に個別分野を記載
⑥魅力向上 ～魅力の発展・発信による地域活性化～ <small>(シティセールス、移住・定住、若者地元定着)</small>	

①生活・支援 ～誰もが利便性を実感できる暮らし～		地域社会
<p>情報通信基盤の整備やデジタルデバインド対策の拡充などにより、誰もが利便性を実感できる暮らしを推進するとともに、市政・生活情報の発信を強化するなど日常生活における利便性の向上を図ります。</p>		
5 公共交通	取組	具体例
	<p>市民生活に欠かせない身近な交通手段である公共交通について、デジタル技術を有効に活用し、より利用しやすい環境の整備を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の利便性向上を図るため、運賃のキャッシュレス化の検討を行います。 ○乗客とドライバーをつなぐマッチングサービスなど、地域モビリティの確保に向けた調査研究を行います。 ○公共交通サービスの内容などを分かりやすく発信し、市民の方々に公共交通が日常の移動に“使える”と思ってもらえる取組みを推進します。

2.6. 愛媛県地域公共交通網形成計画

- 「愛媛県 地域公共交通網形成計画」(2023. 7. 一部改正) は、2017 年度に策定された基本方針や計画目標を継承しつつ、計画期間や個別事業の変更等について改正を行っています。
- 個別事業の追加内容として、目標 5 の利用促進策のなかで、あらゆる交通モードを対象に、キャッシュレス決済システムの導入・拡充を行うため、「デジタル技術を活用した利便性の向上」が新たに規定されています。



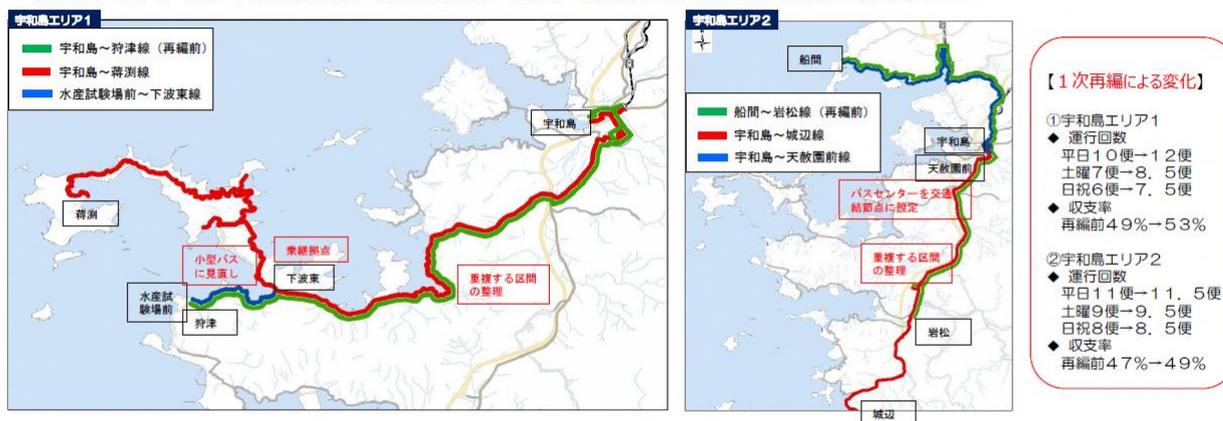
2.7. 愛媛県南予地域公共交通利便増進実施計画

- 「愛媛県 南予地域公共交通利便増進実施計画（旧：再編実施計画）」は、持続可能な交通ネットワークの再構築を図るため、運行の重複する区間の整理、経路短縮等による収支改善と運行持続性の向上を達成することを目的としています。
- 宇和島市を含む9市町が対象で、令和元（2019）年から令和6（2024）年9月までの5年を計画期間としています。
- 宇和島市を含む再編は、1次再編（2019.10）時に宇和島エリア1と宇和島エリア2、3次再編（2020.9）時に宇和島市・鬼北町・松野町エリアが実施済みです。（下図参照）
- 本計画は「愛媛県 地域公共交通網形成計画」（2018.3）の「再編事業」として、一部個別事業へ位置づけをされていましたが、「愛媛県 地域公共交通網形成計画」（2023.7.一部改正）策定時に「道路運送高度化事業」にも対応するため、総称して「特定事業」に変更されています。

【主な事業内容】

➢ 1次再編：令和元年10月

- ①宇和島エリア1：宇和島～狩津線と宇和島～蔦淵線を統合し、宇和島～蔦淵線を幹線、水産試験場前～下波東線を支線として再編
- ②宇和島エリア2：船間～岩松線と宇和島～城辺線を統合し、宇和島～城辺線を幹線、船間～天教園前線を支線として再編



➢ 2次再編：令和2年4月

- ①八幡浜市・伊方町エリア：三崎線の運行ルートを変更し速達性を高める。廃止区域では乗合タクシー、コミュニティバスを運行。
- ②八幡浜市・西予市エリア：八幡浜～下泊線を幹線とし、三瓶～周木線を支線として再編、三瓶～歴史博物館前線の一部便延伸により、重複区間を整理。

➢ 3次再編：令和2年9月

- ①宇和島市・鬼北町・松野町エリア：宇和島～愛治診療所前線を宇和島～虹の森公園前線と統合、一部経路を見直し、重複区間を整理。

宇和島市の交通の概況及び公共交通の現状

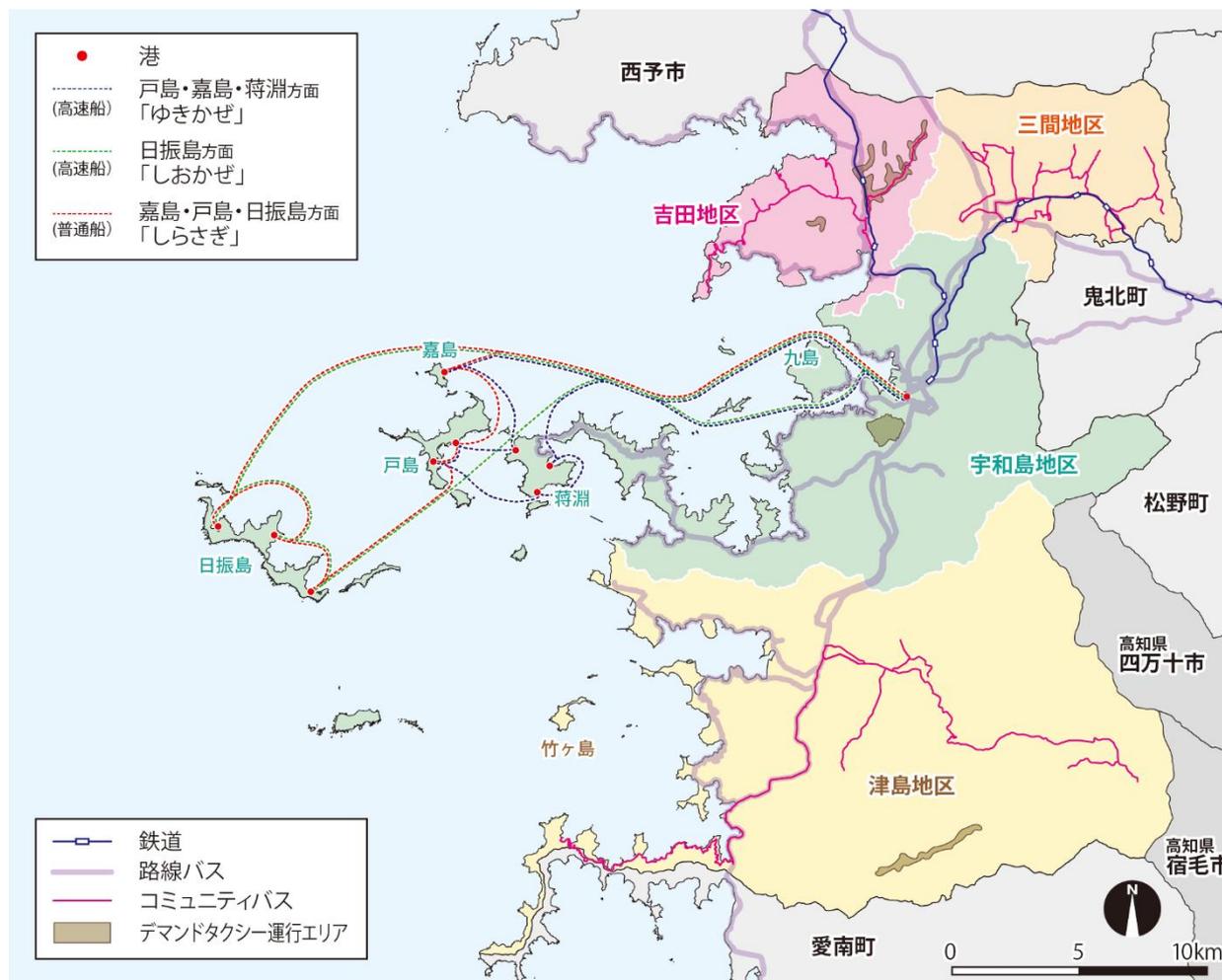
目 次

1. 宇和島市の公共交通の現状	1
1.1. 現状の交通体系.....	1
1.1. 公共交通の圏域と人口分布.....	2
1.2. 交通結節点の概況.....	3
1.3. 陸上交通の概況.....	8
1.3.1. 鉄道.....	8
1.3.2. 高速バス.....	10
1.3.3. 路線バス.....	11
1.3.4. コミュニティバス・デマンドタクシー.....	19
1.3.5. タクシー.....	25
1.4. 海上交通の概況.....	27
1.4.1. 航路.....	27

1. 宇和島市の公共交通の現状

1.1. 現状の交通体系

- 宇和島市中心部を起点とし、放射状に路線網が構成されています。
- 吉田方面（至八幡浜・松山）は四国旅客鉄道の予讃線と宇和島自動車の松山線が、三間方面（至鬼北・松野）は四国旅客鉄道の予土線と宇和島自動車の鬼北線が、津島方面（至城辺・宿毛）には宇和島自動車の城辺・宿毛線がそれぞれ幹線としての役割を担っています。
- 三浦半島方面は宇和島自動車の三浦半島線と、盛運汽船の航路が運行（運航）しています。



出典：宇和島市公共交通マップ 2023年3月版、宇和島市HP（デマンドタクシー）、盛運汽船HP

図 1 宇和島市の公共交通体系

1.1. 公共交通の圏域と人口分布

- 人口が集積している地域は、概ね公共交通を利用しやすい状況にありますが、周辺部を中心に一部、駅やバス停から離れた地域も見られます。

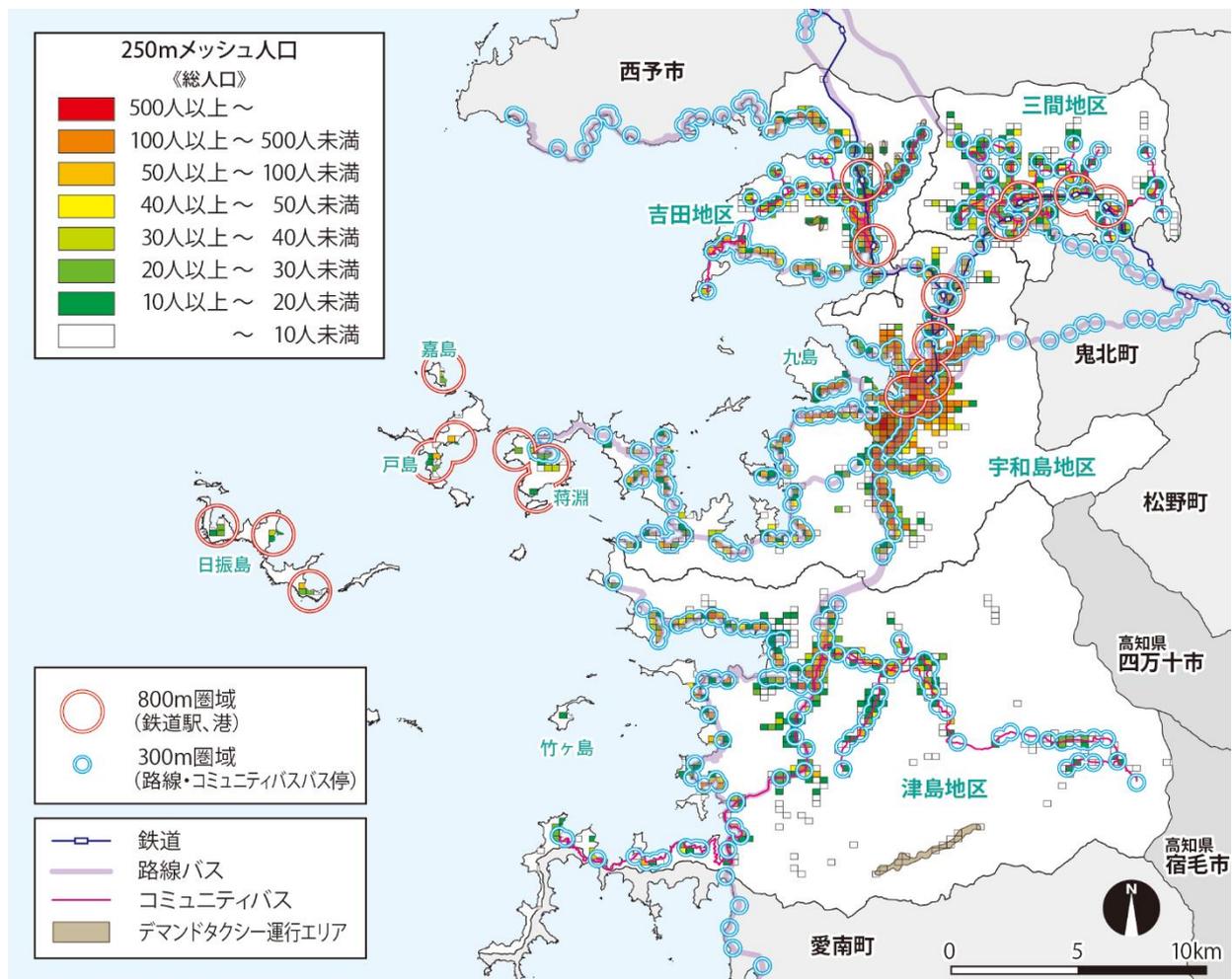


図 2 駅や港、バス停からの圏域と人口分布

1.2. 交通結節点の概況

- 鉄道駅や港、バスセンター等の主要なバス停が交通結節点として機能しています。
- これらの交通結節点では公共交通機関同士の乗り継ぎが想定されており、待合環境が整備されていますが、乗り継ぎに関する情報提供が十分でない箇所も見られます。

(1) 宇和島地区

■ 宇和島バスセンター

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

■ JR 宇和島駅

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

■ 恵美須町

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

■ きさいや広場／宇和島新内港駅

					
					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

(2) 吉田地区

■ JR 伊予吉田駅

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

■ 吉田出張所 (宇和島ハイヤー)

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

■ 吉田支所

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

■ 吉田病院／北小路

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

(3) 三間地区

■ JR 伊予宮野下駅

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

■ JR 務田駅

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

■ 道の駅みま

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

■ 三間支所

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

(4) 津島地区

■ 岩松出張所 (宇和島自動車)

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

■ 津島病院

					
鉄道	高速バス	路線バス	コミバス・デマンド	タクシー	航路

1.3. 陸上交通の概況

1.3.1. 鉄道

(1) 運行状況

- 四国旅客鉄道により、予讃線が宇和島駅から松山駅方面に、予土線が北宇和島駅から若井駅（高知県）方面に運行されています。
- 予讃線は平日1日27.0往復（うち特急16.5往復）が運行されており、主に松山・大洲・八幡浜方面への輸送を担っています。
- 予土線（愛称：しまんとグリーンライン）は平日1日12.0往復（普通列車のみ）が運行されており、主に鬼北・松野・四万十方面への輸送を担っています。

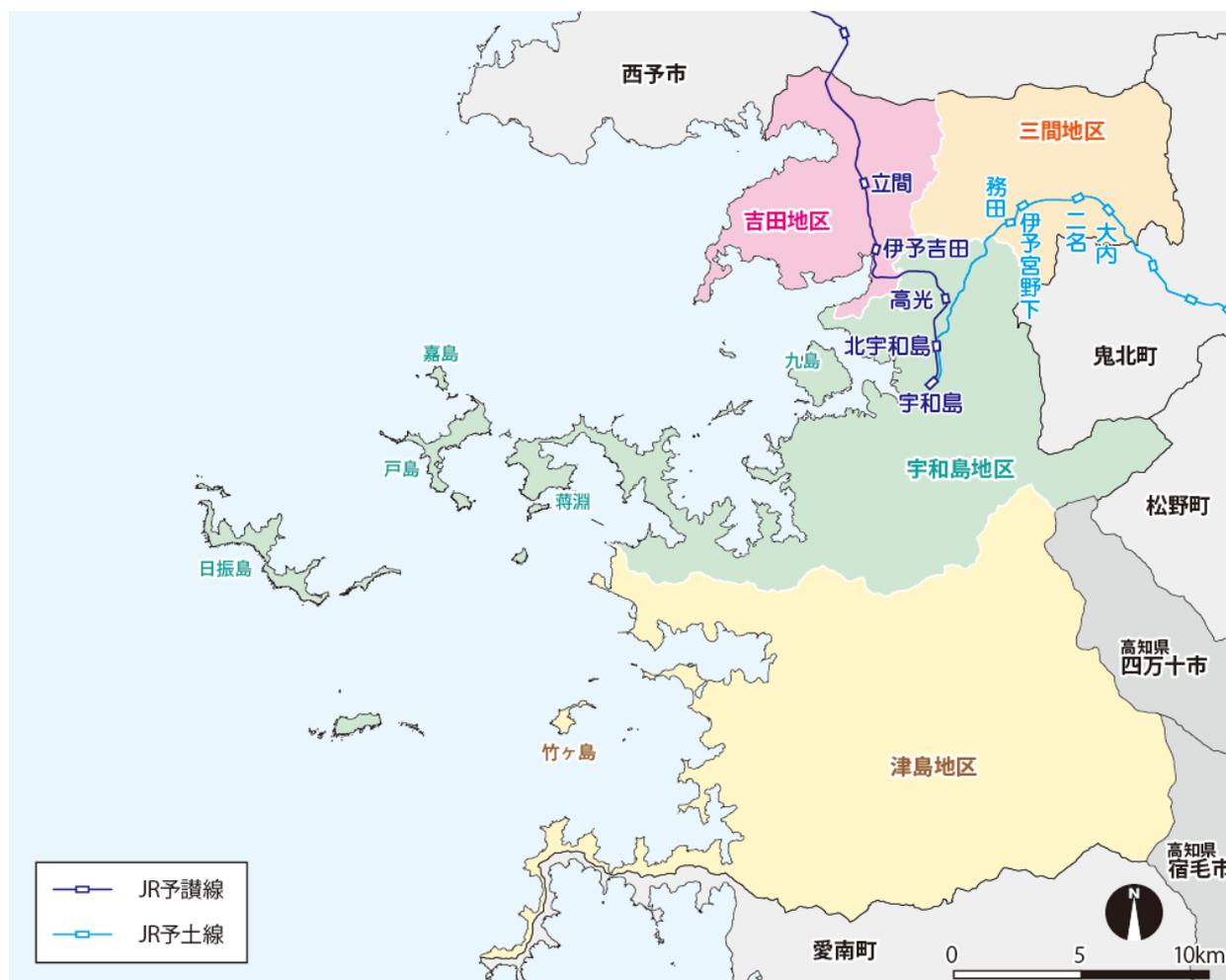
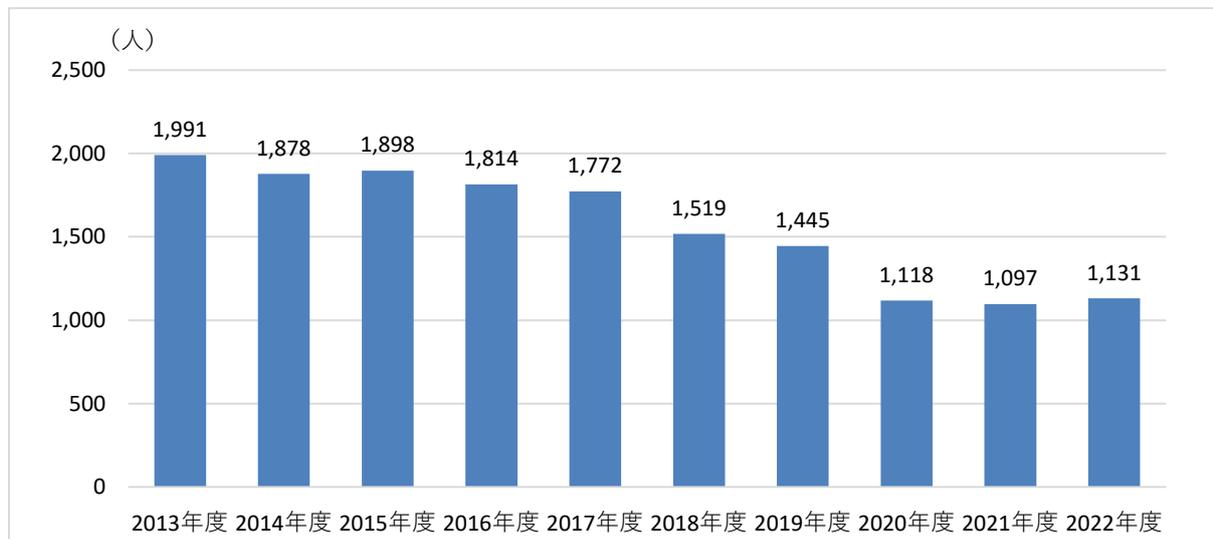


図 3 宇和島市の鉄道網

(2) 利用状況

- 市内における鉄道の乗車人員は、減少傾向にあります。



出典：四国旅客鉄道資料

図 4 宇和島市内の全鉄道の1日あたり乗車人員合計の推移

- 駅別で見ると、宇和島駅が1日約860人（2022年度）の乗車があり、最も多くなっている一方、1日の乗車人員が20人に満たない駅も複数あります。

表 1 宇和島市内の各駅の1日あたり乗車人員の推移

駅名	単位：人										
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
宇和島	1,443	1,369	1,362	1,319	1,290	1,132	1,093	818	819	863	
北宇和島	71	59	68	60	66	47	38	23	29	27	
高光	5	5	6	5	2	1	1	0	1	0	
伊予吉田	160	129	147	149	145	109	100	80	67	70	
立間	99	93	87	72	69	56	53	45	43	45	
務田	53	50	51	42	41	31	28	27	26	27	
伊予宮野下	129	145	149	134	123	110	95	94	81	73	
二名	14	13	11	16	19	18	20	21	19	19	
大内	17	15	17	17	17	15	17	10	12	7	
計	1,991	1,878	1,898	1,814	1,772	1,519	1,445	1,118	1,097	1,131	

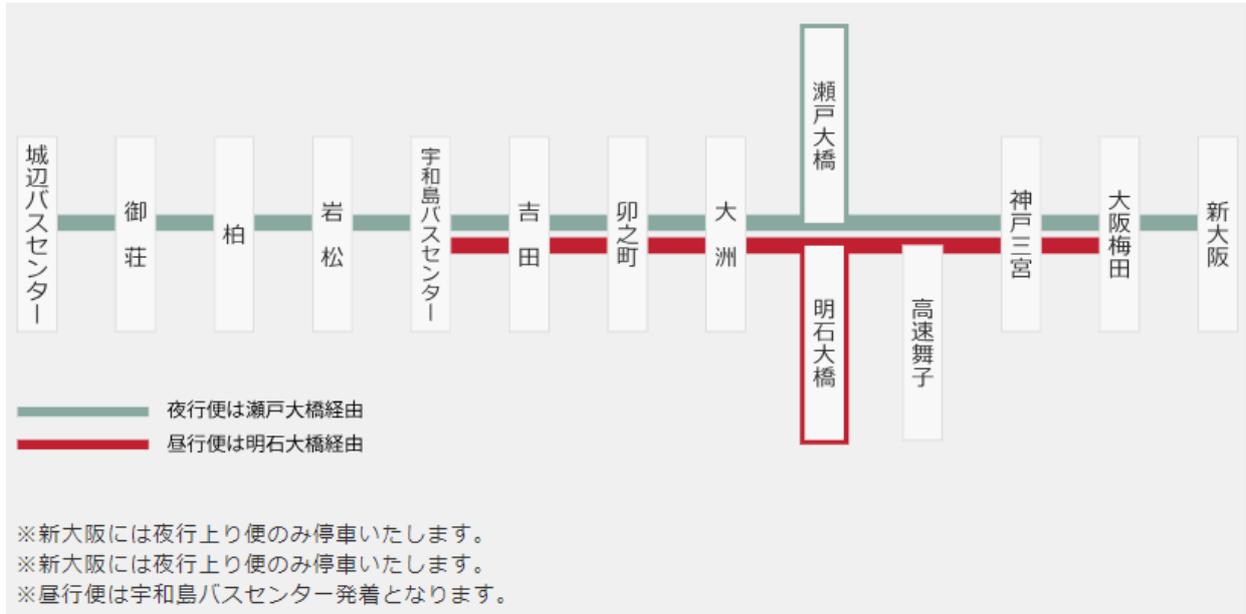
■：予讃線停車駅 □：予土線停車駅

出典：四国旅客鉄道資料

1.3.2. 高速バス

(1) 運行状況

- 宇和島自動車（阪神バスとの共同運行）により、神戸・大阪方面に高速バスが運行されています。
- 1日2往復（昼行便と夜行便で運行経路が異なる）運行されており、神戸・大阪方面への長距離輸送を担っています。

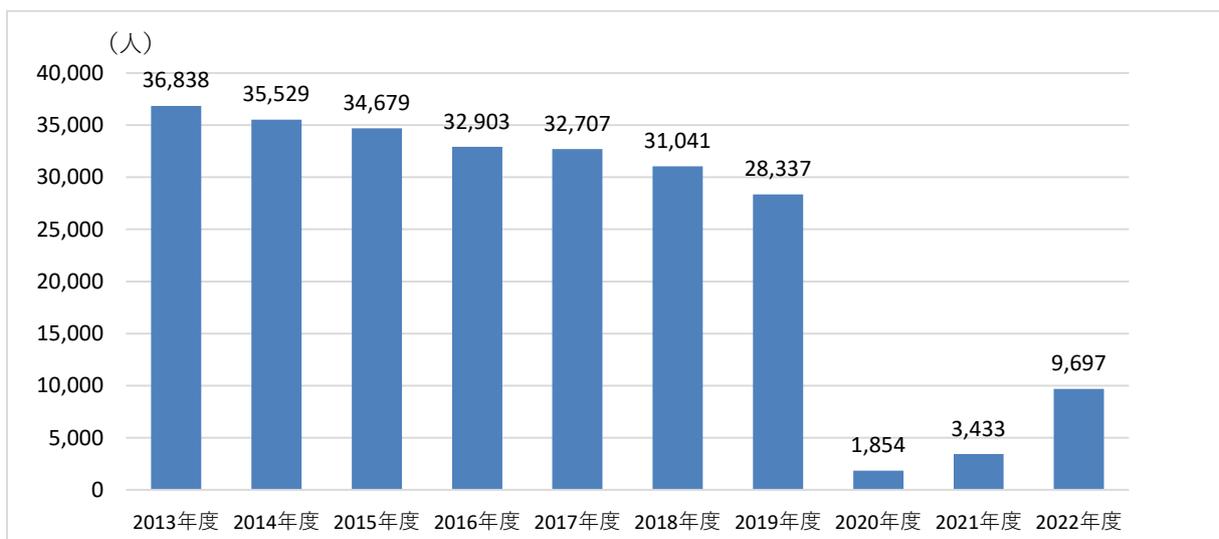


出典：宇和島自動車HP

図 5 宇和島市に係る高速バスの路線図

(2) 利用状況

- 高速バスの利用者数は、減少傾向にあり、2020年度以降は急減しています。
- これは、新型コロナウイルス感染症の影響により運休月が多くなったためと考えられます。



出典：宇和島自動車資料

図 6 高速バスの年間利用者数の推移

1.3.3. 路線バス

(1) 運行状況

- 宇和島自動車により、市内外の各方面に路線バスが運行されています。
- 特に松山方面には、宇和島道路等を経由して松山・道後に至る特急便・急行便が、平日 1 日 12 往復運行（2023 年 4 月 1 日改正）されています。



出典：宇和島市公共交通マップ 2023 年 3 月版

図 7 宇和島市に係る路線バス網

- 路線バスは、市域を南北に縦断する松山線と吉田支線、宇和島地区内を運行する宇和島市内線と三浦半島線、津島地区内を運行する岩松支線、宇和島地区から三間地区、鬼北町を結ぶ鬼北線の計6路線があります。



図 8 運行系統別のバス路線網【松山線】



図 9 運行系統別のバス路線網【吉田支線】

出典：宇和島市公共交通マップ 2023 年 3 月版



図 10 運行系統別のバス路線網【宇和島市内線】

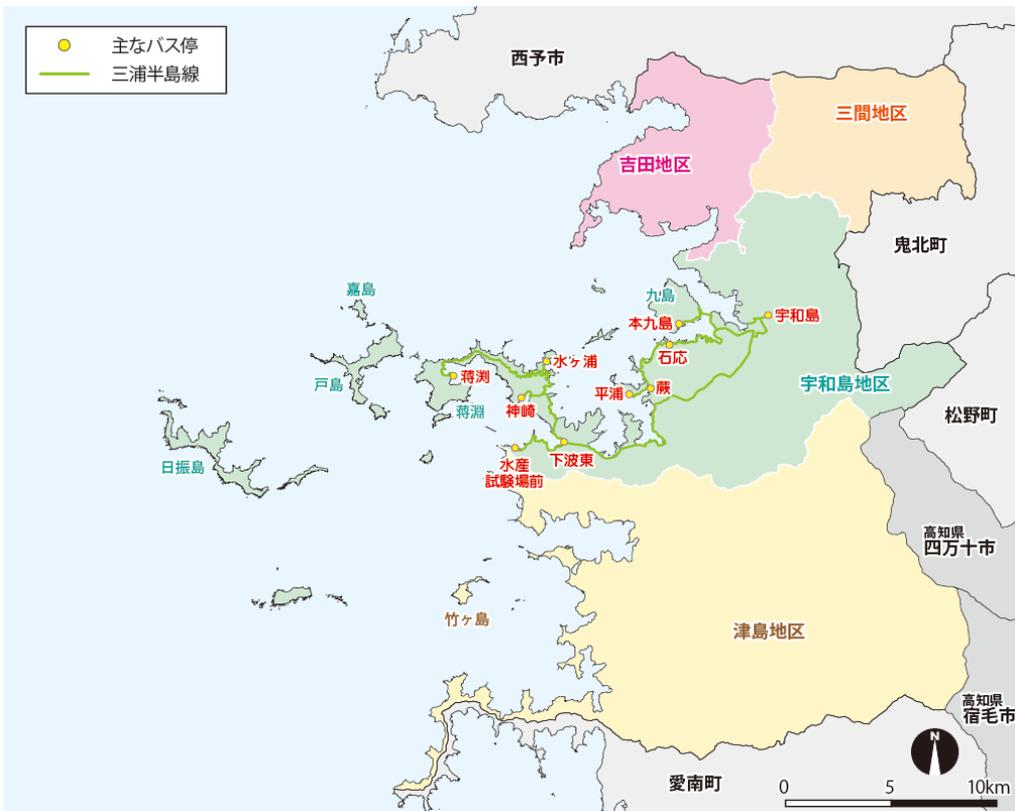


図 11 運行系統別のバス路線網【三浦半島線】

出典：宇和島市公共交通マップ 2023 年 3 月版



図 12 運行系統別のバス路線網【岩松支線】

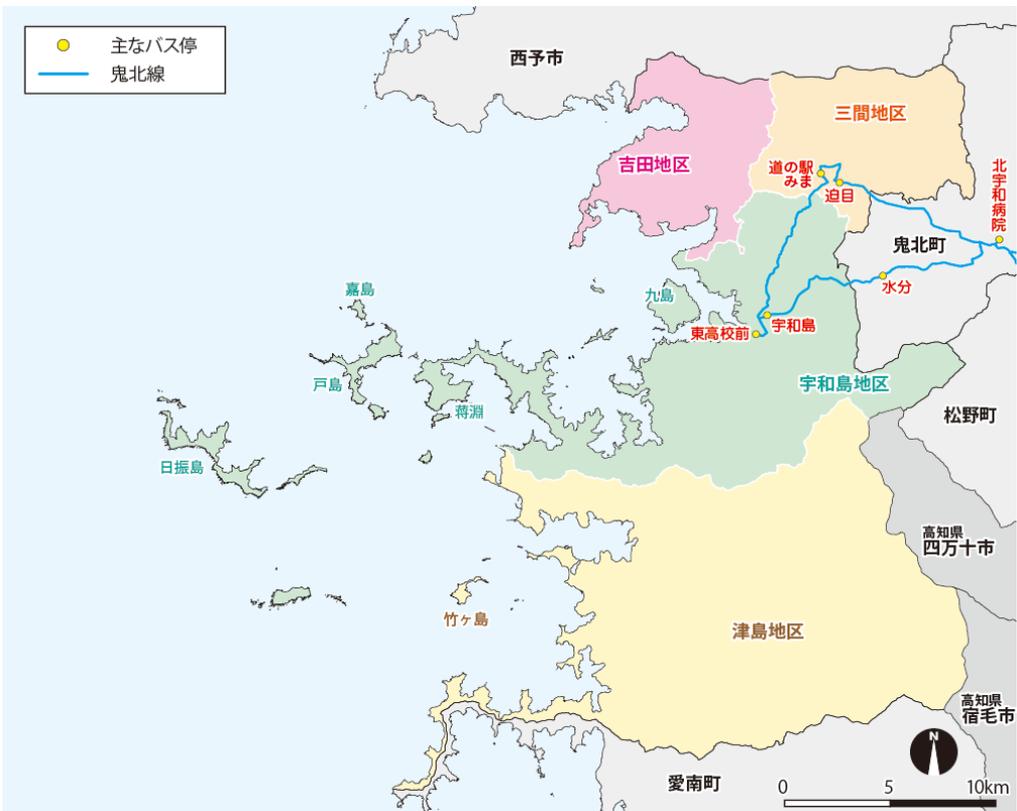
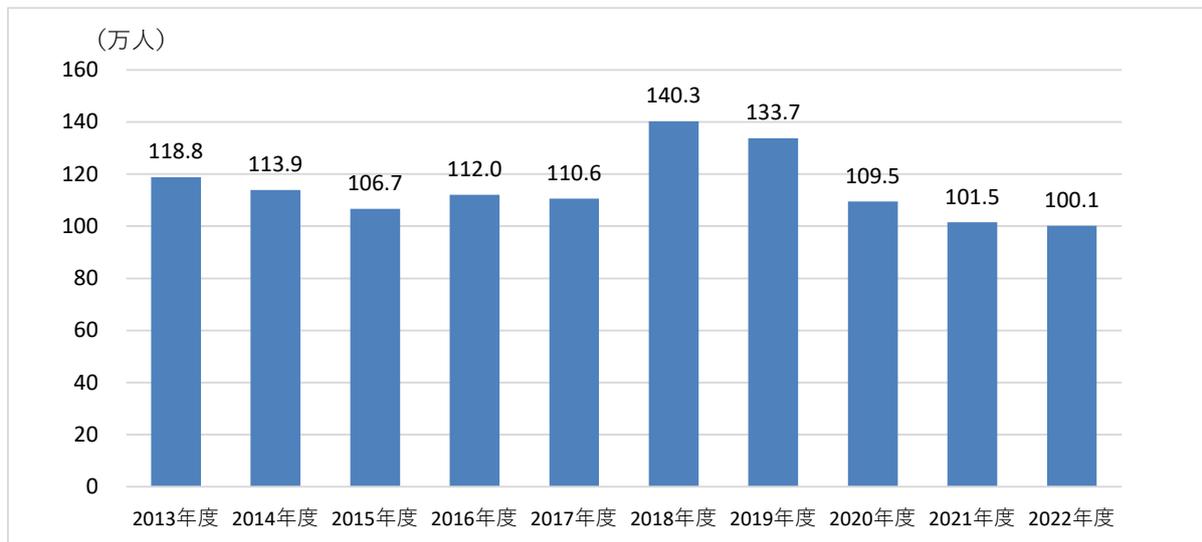


図 13 運行系統別のバス路線網【鬼北線】

出典：宇和島市公共交通マップ 2023 年 3 月版

(2) 利用状況

- 路線バスの利用者数は、2013年度から2022年度まで減少傾向が続いています。
- なお、2018年度と2019年度の増加については、2018年7月の西日本豪雨災害による鉄道の運休の影響で7～9月で松山線の利用者数が一時的に増加したこと等が考えられます。



※松山～宇和島～城辺系統は除く

※各年度の集計期間は前年10月1日～当年9月30日

出典：宇和島自動車資料

図 14 宇和島市における路線バス利用者数の推移

(3) 収益状況

- 市内を運行する全ての系統で、欠損（赤字）が生じています。
- 欠損が生じている系統には、国や県、宇和島市を含む関係市町による補助金が交付されています。
- 欠損額が補助金により全額カバーされない系統もあります。

表 2 宇和島市に係るバス路線の系統別損益状況（2021年10月1日～2022年9月30日実績）

運行系統			系統 キロ 程	運行 回数 回/日	経常費用 千円	経常収益 千円	欠損 千円	（補助金）			
起点	経過地	終点						宇和島市 千円	国 千円	県 千円	その他 千円
宇和島駅前	市立病院	城辺	43.9	5.4	48,595	24,316	24,279	3,682	8,033	6,074	6,489
宇和島駅前	市立病院	宿毛	67.1	9.5	130,731	39,065	91,666	17,558	17,978	14,839	41,292
東高校前	北宇和病院・道の駅みま	虹の森公園前	28.5	7.6	44,142	10,142	33,999	8,163	9,658	9,932	6,247
東高校前	柿原ハイバス・北宇和病院	野村病院	63.4	5.1	66,189	24,806	41,384	1,935	9,654	8,760	21,035
田之浜		天教園	41	7.7	64,464	18,833	45,631	12,588	9,467	5,651	17,925
船間	立目・知永・やすらぎの里	天教園	22.3	5	23,025	7,706	15,319	5,026	5,043	5,181	70
立間駅前	バスセンター・南楽園	福浦	41.5	7.5	63,590	25,080	38,510	15,219	10,336	7,631	5,325
きさいや広場		本九島	9	8.7	16,133	5,869	10,264	5,132	5,131	0	1
きさいや広場	藤	平浦	15	7.5	23,418	7,463	15,955	7,977	0	5,268	2,710
きさいや広場	寄松・神崎	蔦淵	38.1	5.8	45,622	14,976	30,646	15,323	0	10,264	5,059
柿原		出口	7.7	16.3	25,677	8,056	17,621	8,810	0	5,777	3,034
赤松	ジェイコー宇和島病院	薬師谷溪谷	14	9.6	27,057	6,701	20,356	10,178	0	6,087	4,091
東高校前	柿原ハイバス・北宇和病院	日吉支所前	38.7	0.9	7,708	2,771	4,937	452	0	0	4,485
岩松	津島田の浜・脇	嵐	18	4.5	17,765	5,101	12,664	6,332	0	0	6,332
きさいや広場	寄松	三浦小学校前	13.8	0.2	790	112	678	339	0	0	339
下波東		水産試験場前	4	4.3	3,506	420	3,086	1,543	0	0	1,543
大洲駅前	卯之町	天教園	43.5	0.9	8,791	1,280	7,510	1,502	0	0	6,008
バスセンター		卯之町	21.6	0.5	2,472	521	1,951	749	0	0	1,202
船間	立目	バスセンター	21.4	0.4	2,156	60	2,096	1,047	0	0	1,049
立間駅前		バスセンター	13.3	0.7	2,097	196	1,902	950	0	0	952
立間駅前		岩松	26.6	2.1	11,501	1,893	9,607	4,803	0	0	4,804
宇和島駅前		岩松	14.3	1.7	6,051	2,873	3,178	1,589	0	0	1,589
岩松		福浦	11.9	0.7	1,880	1,094	786	392	0	0	394
赤松		柿の木	14	0.4	1,411	536	874	437	0	0	437
東高校前		柿原	4.3	1.8	1,652	334	1,317	658	0	0	659
堀端		出口	3.4	1.1	768	27	741	370	0	0	371
堀端		柿の木	7.2	0.7	1,115	487	628	313	0	0	315
堀端		薬師谷溪谷	6.5	0.8	1,087	38	1,049	524	0	0	525
堀端		赤松	6.8	0.9	1,368	18	1,351	675	0	0	676
赤松		天教園	7.9	0.4	644	46	598	298	0	0	300
総計					651,401	210,818	440,583	134,563	75,299	85,462	145,259

出典：宇和島自動車資料、宇和島市資料

表 3 宇和島市におけるバス路線への補助体系

補助名称	種別	補助対象路線	補助対象経費	補助金の額
運行費補助金	県単独補助分	国庫補助システム以外の生活交通バス路線 ①運行システムの距離が5km以上のもの ②運行システムの1日当たりの輸送量が15人から150人までのもの ③運行システムの1日当たりの運行回数が3回以上のもの ④補助対象期間に当該生活交通バス路線の運行によって得た運行システムの経常収益の額が路線バス補助対象経常費用に達していないもの	補助対象経常費用と経常収益との差額 ただし、補助対象経常費用の20分の9に相当する額を限度とする	補助対象経費の額の合計額
	市単独補助分	国庫補助制度の補助対象路線のうち、地域間幹線システム確保維持費国庫補助金の交付を申請している生活交通バス路線	補助対象収支差額 ただし、国庫補助制度及び県運行対策費補助制度並びに宇和島市生活交通バス路線維持・確保対策事業費補助金交付要綱第1節の規定による補助金がある場合は、補助対象収支差額から当該補助金の額を差し引いた額を上限とする	国庫補助制度及び県運行対策費補助制度による補助金の額が国庫補助制度における補助限度額に満たない部分 国庫補助限度額から国庫補助金等の額を差し引いた額の2分の1以内の額
		国庫補助制度の補助対象路線のうち、域内フィーダーシステム確保維持費国庫補助金の交付を申請しているバス路線		補助対象経費の額の合計額以内
		路線バス運行費補助金(県単独補助分)の交付を申請している生活交通バス路線		県単独補助制度における補助限度額が補助対象経費の額に満たない部分 補助対象経費の額から県単独補助上限額を差し引いた額の2分の1以内の額
	国庫補助制度及び県単独補助制度の補助対象路線以外の生活交通バス路線のうち、住民の生活維持・確保に必要であると市長が認めた生活交通バス路線	補助対象経費の額の合計額以内		

出典：宇和島市資料

(4) 見直しに向けた動向

- 公共交通網を持続可能なものとするため、愛媛県では主に広域バス路線の再編として、運行の重複する区間の整理、経路短縮等（収支改善）が進められており、宇和島市に関わる再編は、以下の内容で実施されています。

表 4 愛媛県による宇和島市に関わる再編事業の実施状況

県再編の内容・実施時期	運行系統			輸送人員（10月1日～9月30日）				
	起点	経過地	終点	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
①船間～岩松線（2019.10.1） ・「船間～岩松」を「船間～天赦園前」に短縮	船間	立目・知永・ やすらぎの里	岩松	69,261	75,997	-	-	-
	船間	立目・知永	天赦園	-	-	47,637	46,156	49,272
②宇和島～蔦淵線、宇和島～狩津線 （2020.9.1） ・「宇和島～蔦淵線」を幹線として運行し、 「下波東～狩津線」は支線として運行	きさいや広場	寄松	水産試験場前	27,798	21,505	-	-	-
	下波東		水産試験場前	-	-	7,977	4,486	3,649
③宇和島～愛治診療所前線、宇和島～虹の森 公園前線（2020.9.1） ・「宇和島～愛治診療所前線」を「宇和島～ 虹の森公園前線」に統合し、一部経路を変更 ・代替交通として、コミュニティバスへ移行	東高校前	仏木寺	愛治診療前	21,490	22,977	20,424	-	-
	東高校前	北宇和病院	虹の森公園前	39,203	40,726	30,791	-	-
	東高校前	道の駅みま	虹の森公園前	-	-	4,519	40,931	40,557

出典：愛媛県資料、宇和島自動車資料

1.3.4. コミュニティバス・デマンドタクシー

(1) 運行状況

- 吉田地区、三間地区、津島地区で市がコミュニティバス及びデマンドタクシーを運行しています。
- 合併前の制度を引き継いで運行しているため、サービス内容は各地区で異なっております。



出典：宇和島市公共交通マップ 2023年3月版

図 15 コミュニティバス・デマンドタクシーの路線網

表 5 コミュニティバス・デマンドタクシーの概要

地区	路線・サービス概要	運行車両
宇和島	<p><u>宇和島地区デマンドタクシー</u></p> <p>サービス提供主体：宇和島市 運行委託先：丸之内そうご 運 行 日：月～土（日祝、年末年始運休） 日運行便数：8.5 往復 運 賃：大人 300 円、小人 150 円 ※障害者手帳または障害者手帳アプリを所持している方とその介護人は半額 ※未就学児については、大人 1 人につき 1 人 無料 備 考：居住エリア、まちなかエリアともに停留所を設定したミーティングポイント方式（要事前登録）</p>	
吉田	<p><u>吉田地区コミュニティバス</u></p> <p>サービス提供主体：宇和島市 運行委託先：宇和島ハイヤー 運 行 日：月～金（土日祝、年末年始運休） 日運行便数：大良線 6.0 往復 筋線 4.0 往復 大河内線 5.0 往復 （うち 2.5 往復はデマンド便） 川平線 1.0 往復 （川平線は全てデマンド便） 運 賃：大人 200 円、小人 100 円 ※障害者手帳または障害者手帳アプリを所持している方とその介護人は半額 ※未就学児については、大人 1 人につき 1 人 無料 備 考：一部、停留所を設定したミーティングポイント方式のデマンド運行便あり（要事前登録）</p>	 

※運行委託先は 2023 年度時点

出典：宇和島市 HP

表 6 コミュニティバス・デマンドタクシーの概要

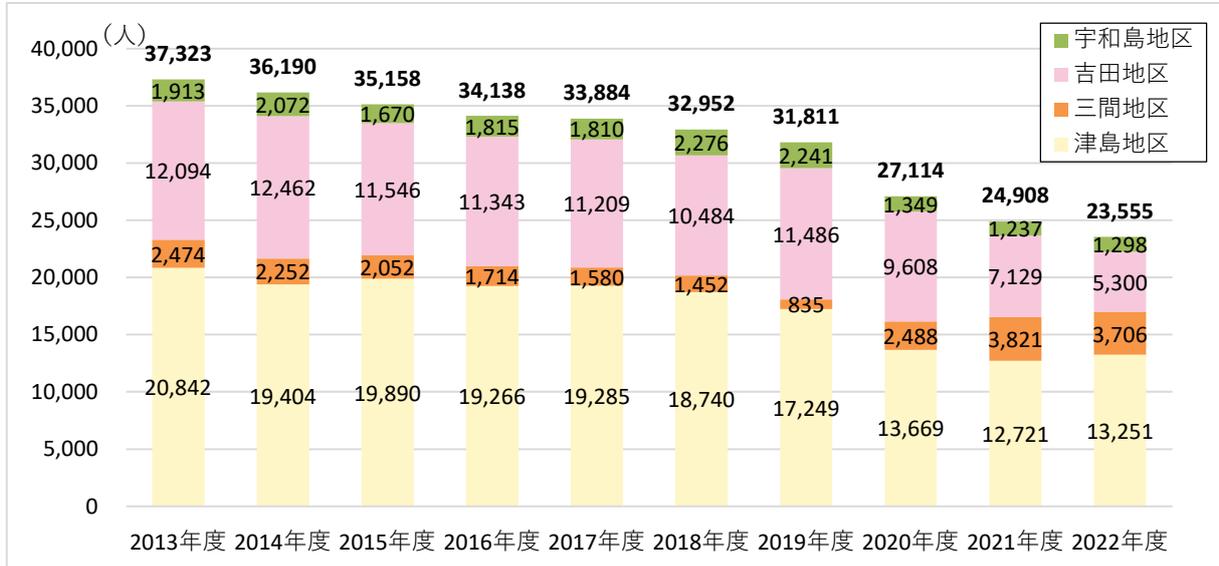
地区	路線・サービス概要	運行車両
三間	<p><u>三間地区コミュニティバス</u> サービス提供主体：宇和島市 運行委託先：(有) 三間タクシー 運 行 日：月～金（土日祝、年末年始運休） 日運行便数：川之内線 3 便 川之内線（三間小学校便）1.0 往復 （小学校のある日だけ運行） 大藤線 3 便 音地線 4 便 音地線（二名小学校便）1.0 往復 （小学校のある日だけ運行） 増田線 3 便 運 賃：大人 200 円、小人 100 円 ※障害者手帳または障害者手帳アプリを 所持している方とその介護人は半額 ※未就学児については、大人 1 人につき 1 人無料</p>	
津島	<p><u>津島地区コミュニティバス</u> サービス提供主体：宇和島市（直営運行） 運 行 日：月～金（土日祝、年末年始運休） 日運行便数：谷郷線 5.0 往復 須下線 3.0 往復、 本俵線 4.0 往復 野井・五郎丸線 1.0 往復 上楨線 2.0 往復 （上楨線は全てデマンド便） 運 賃：大人 200 円、小人 100 円 ※障害者手帳または障害者手帳アプリを 所持している方とその介護人は半額 ※未就学児については、大人 1 人につき 1 人無料 備 考：上楨線は、前日までに利用予約が必要</p>	

※運行委託先は 2023 年度時点

出典：宇和島市 HP

(2) 利用状況

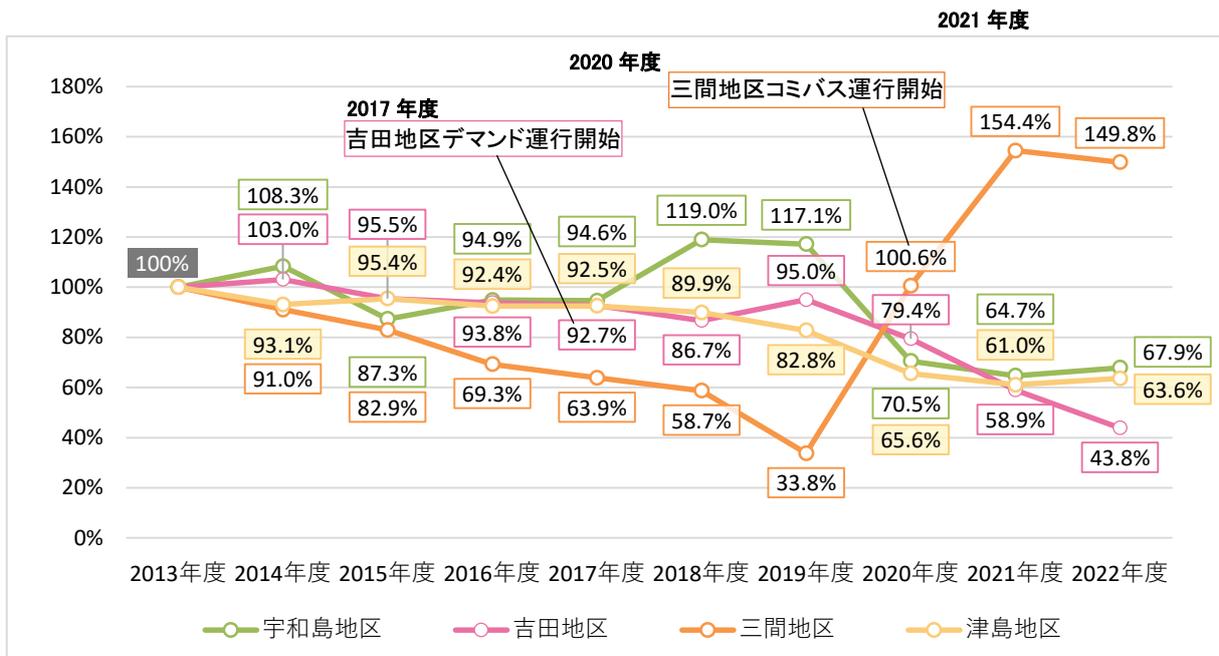
- コミュニティバス・デマンドタクシーの全体利用者数は、減少傾向にあります。



出典：宇和島市資料

図 16 コミュニティバス・デマンドタクシーの利用者数の推移

- 2013年度を100とすると、2022年度まで三間地区を除き全ての路線で減少しています。
- 三間地区は2019年度まで減少していましたが、2020年度からデマンドタクシーを廃止し、コミュニティバスの運行が開始されたことから増加しています。

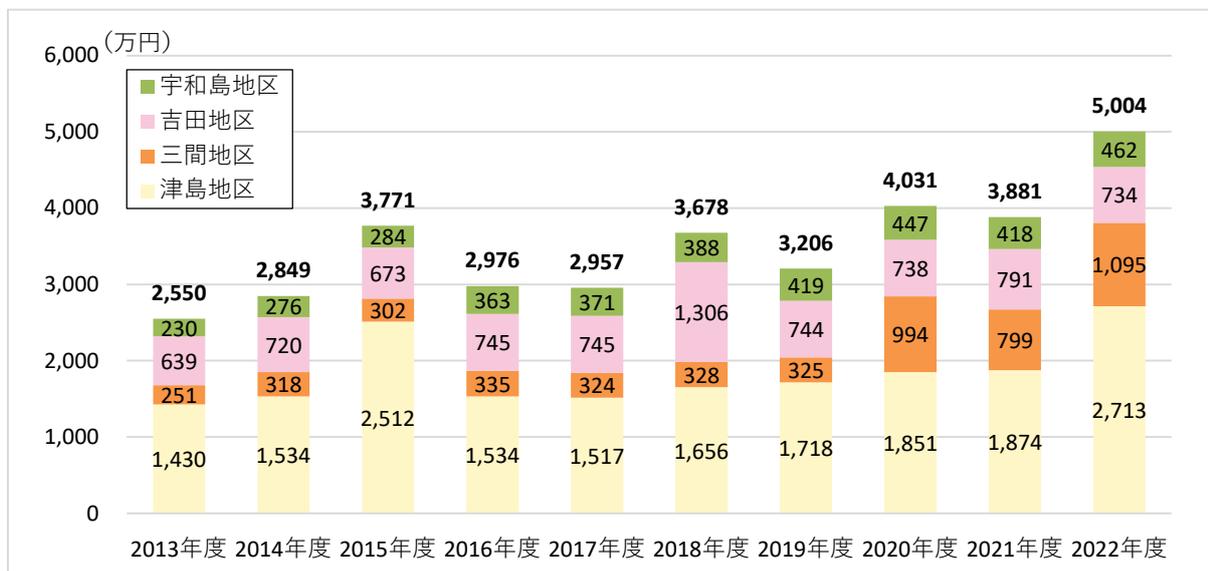


出典：宇和島市資料

図 17 コミュニティバス・デマンドタクシーの利用者数の推移（2013年度を100%とした場合）

(3) 収益状況

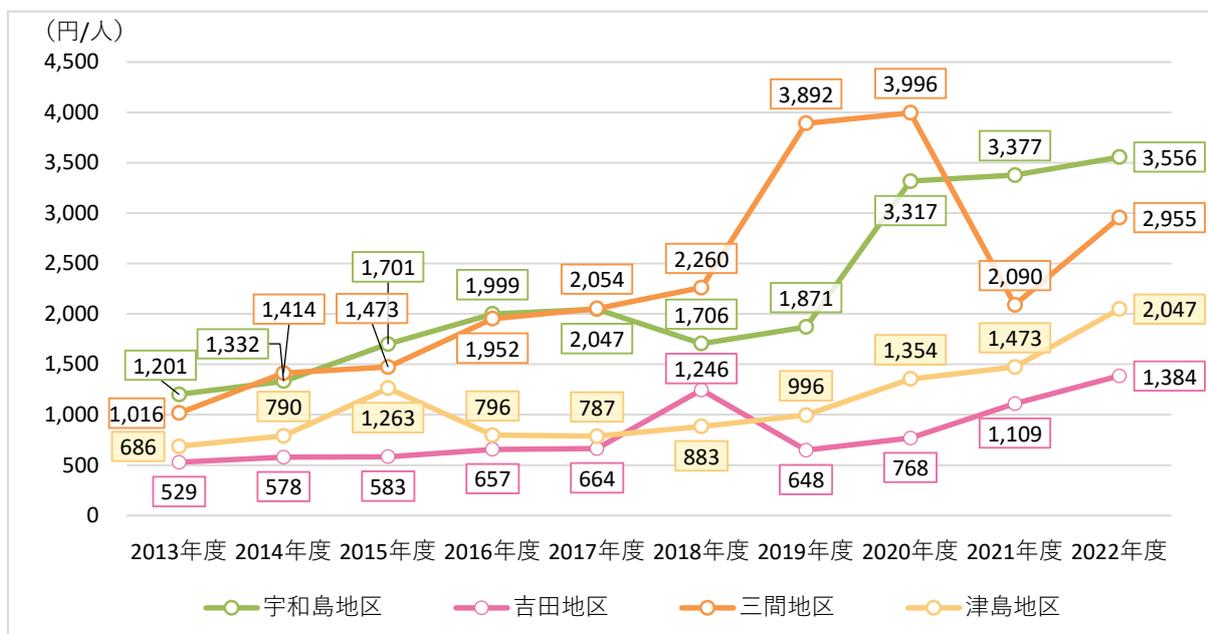
- コミュニティバス・デマンドタクシーの運行に係る全体の費用は、増加傾向にあります。



出典：宇和島市資料

図 18 コミュニティバス・デマンドタクシーの運行経費の推移

- 利用者 1 人当たりの運行経費は、2013 年度と 2022 年度を比較すると、約 3 倍に増加しています。



出典：宇和島市資料

図 19 コミュニティバス・デマンドタクシーの利用者 1 人当たりの運行経費の推移

表 7 コミュニティバス・デマンドタクシーの損益状況（2013～2022 年度実績）

単位：円

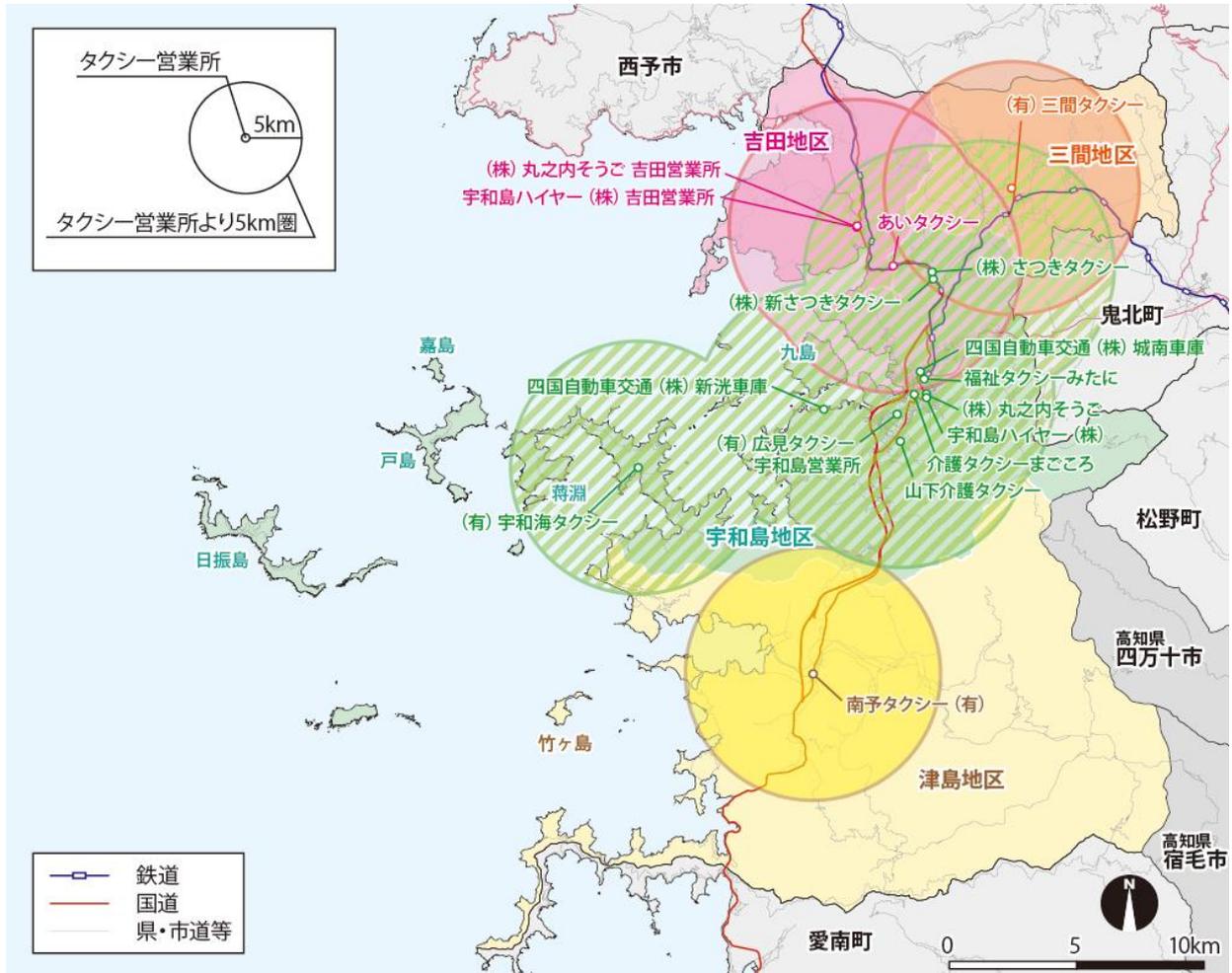
地区	年度	運行経費		使用料 (運賃収入)	国補助金	市負担額	備 考
		全 体	うち委託料				
宇和島地区	2013	2,296,882	2,111,407	439,050	1,117,000	740,832	
	2014	2,760,921	2,605,677	454,800	688,500	1,617,621	
	2015	2,840,880	2,782,010	423,900	678,000	1,738,980	
	2016	3,629,006	3,404,894	367,350	806,000	2,455,656	
	2017	3,705,061	3,528,154	429,450	520,500	2,755,111	
	2018	3,882,032	3,658,176	522,000	873,500	2,486,532	
	2019	4,192,885	4,029,228	557,550	815,500	2,819,835	
	2020	4,474,847	4,141,555	323,100	825,500	3,326,247	
	2021	4,177,534	4,125,440	289,050	743,000	3,145,484	
	2022	4,616,218	4,351,050	299,850	747,500	3,568,868	
吉田地区	2013	6,392,518	5,991,343	2,171,600	2,629,000	1,591,918	
	2014	7,204,425	6,642,628	2,244,400	2,783,000	2,177,025	
	2015	6,728,195	6,189,358	2,239,800	3,134,000	1,354,395	
	2016	7,449,181	6,854,760	2,067,100	3,099,000	2,283,081	
	2017	7,446,031	6,887,160	1,973,400	3,256,000	2,216,631	
	2018	13,062,212	6,856,920	1,636,800	3,912,500	7,512,912	うち車両購入費 5,500,000 円（2 台分）、災害対策費 304,573 円
	2019	7,439,696	6,943,020	1,979,400	3,621,000	1,839,296	
	2020	7,379,712	7,087,300	1,558,400	4,658,500	1,162,812	
	2021	7,906,302	6,947,600	1,169,000	4,407,000	2,330,302	
	2022	7,336,846	7,001,500	955,750	4,588,500	1,792,596	
三間地区	2013	2,512,948	2,492,153	241,600	625,000	1,646,348	
	2014	3,183,489	2,902,070	228,800	628,500	2,326,189	
	2015	3,022,395	2,867,892	223,000	733,000	2,066,395	
	2016	3,346,562	3,126,816	164,800	756,500	2,425,262	
	2017	3,244,784	3,141,828	149,400	646,000	2,449,384	
	2018	3,281,933	3,038,955	149,900	188,000	2,944,033	
	2019	3,249,429	3,176,216	120,300	176,500	2,952,629	
	2020	9,941,431	6,261,766	319,100	698,500	8,923,831	うち車両購入費 3,230,000 円、令和 2 年 9 月再編
	2021	7,985,355	7,246,800	508,000	3,111,000	4,366,355	
	2022	10,952,190	7,378,800	561,500	3,065,000	7,325,690	うち車両購入費 3,480,000 円
津島地区	2013	14,295,401	—	3,576,900	5,417,000	5,301,501	
	2014	15,336,614	—	3,520,500	5,060,000	6,756,114	
	2015	25,115,335	—	3,531,000	5,346,000	16,238,335	バス車両購入費（9,433,660 円）を含む。
	2016	15,338,891	—	3,517,400	7,275,000	4,546,491	補助金にバス購入費補助（1,666 千円）を含む。
	2017	15,173,286	—	3,320,300	5,572,000	6,280,986	
	2018	16,555,505	—	3,283,300	5,485,000	7,787,205	
	2019	17,182,228	—	3,050,700	5,956,000	8,175,528	
	2020	18,512,610	—	2,351,500	6,079,000	10,082,110	
	2021	18,741,777	—	2,190,500	6,637,000	9,914,277	
	2022	27,130,644	—	2,212,100	7,037,000	17,881,544	バス車両購入費（1,505,820 円）を含む。※11,000,000 円は R3 から繰越。R4.4 より、運転手（会計年度）1 名増。

出典：宇和島市資料

1.3.5. タクシー

(1) 営業状況

- タクシー営業所は宇和島地区に多く存在し、宇和島地区の半島部や津島地区では、タクシー営業所から遠くタクシーを利用しにくい地域も存在します。



※介護タクシー：山下介護タクシー、まごころタクシー、福祉タクシーみたに

出典：南予ハイヤー協議会資料より作成

図 20 宇和島市内の主なタクシー営業所分布

(2) 利用状況

- 事業者数や車両数、輸送人員、営業収入ともに減少傾向にあります。
- 1日1車あたりの営業収入は、年によって増減があるものの概ね横ばいの状況でしたが、2020～2021年度は減少、2022年度は増加しています。

表 8 宇和島交通圏（宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町）の一般乗用旅客自動車運送事業の概況

年度	事業者数	車両数	実車キロ (km)	輸送人員 (人)	営業収入 (千円)	実働率※ ¹ (%)	実車率※ ² (%)	1日1車当たり 平均営業収入 (円)
2013	24	188	2,563,224	1,425,576	836,495	66.3	43.3	17,476
2014	22	186	2,484,664	1,116,750	802,822	66.3	43.9	17,702
2015	22	184	2,445,446	1,076,701	796,158	64.9	44.4	17,658
2016	22	182	2,413,229	1,020,467	749,942	62.3	42.3	17,492
2017	22	175	2,298,312	956,901	766,031	60.9	43.9	18,867
2018	21	162	1,973,202	878,105	728,196	62.2	44.0	18,770
2019	21	160	1,804,086	822,279	678,921	61.8	43.2	17,923
2020	20	142	1,248,807	571,747	479,193	56.5	41.7	15,052
2021	20	138	1,277,733	562,339	483,593	55.6	41.8	15,780
2022	20	137	1,355,670	594,141	593,641	56.6	42.4	20,108

※1 実働率=のべ実働車両数/のべ実在車両数

※2 実車率=実車キロ/総走行キロ

出典：四国運輸局業務要覧（四国運輸局）他資料

1.4. 海上交通の概況

1.4.1. 航路

(1) 運行状況

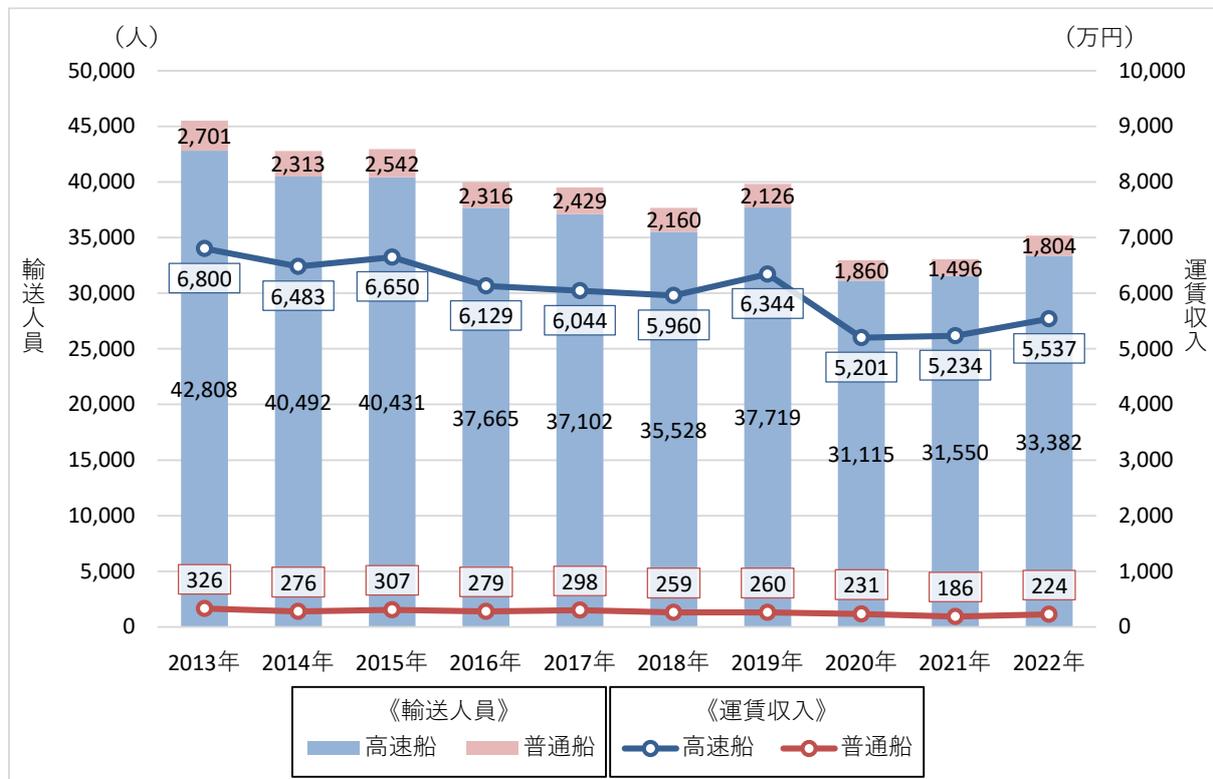
- 盛運汽船により、宇和島新内港と日振島、戸島、嘉島、三浦半島の蔦淵、遊子を結ぶ航路が運航されており、離島の住民にとっては貴重な交通手段となっています。
- 三浦半島では、路線バスも運行されており、交通手段の選択が可能な状況です。
- 高速船は嘉島・戸島・蔦淵・遊子線で1日3.0往復、日振島・遊子線で1日3.0往復、普通船は嘉島・戸島・日振島線で1日1.0往復（土日祝運休）、それぞれ運航しています。



図 21 宇和島市に係る航路

(2) 利用状況

- 輸送人員、運賃収入ともに減少傾向にあります。



出典：盛運汽船資料

図 22 宇和島市に係る航路の輸送人員と運賃収入の推移

市民ニーズ等の把握 実施計画（案）

1. 市民ニーズの把握

1.1. 市民ニーズ等把握の目的

市民の日常生活における移動や公共交通に利用実態及びニーズ等を把握します。

1.2. アンケート調査の概要

アンケート調査の概要を以下に示します。

項目	内容等
調査期間	令和5年11月～12月上旬
調査対象者	18歳以上の宇和島市民
調査方法	・ 郵送によるアンケート調査 ・ QRコードでの調査も併用
配布数	4,000票（無作為抽出） ※宇和島、津島、三間、吉田の4地域に各1,000票配布
回収率	40%を想定 ※現計画策定時のアンケート調査回収率:37.6%
備考	回答者数を増やすため、家族が回答できる様式とする。

1.3. アンケート項目

前回アンケートの項目をベースに、今回実施する内容を検討しました。

大項目		小項目	備考
①住まい等	居住地域	地区	
	世帯	世帯人数	
	最寄りの公共交通	公共交通の種類	
		最寄りの乗降場所	
		乗降場所から自宅までの時間	
②属性	個人	性別	
		年齢	
		職業等	
		自動車保有状況	
②運転免許証について		運転免許の有無	
		免許返納メリットの認知	
		運転免許証の自主返納の考え	
		運転免許証を返納できない理由	
③通勤・通学について		場所	
		頻度	
		移動手段	
④買物について		施設数	
		よく利用する施設	
		利用頻度	
		移動手段	
⑤通院について		施設数	
		よく利用する施設	
		利用頻度	
		移動手段	
⑥その他の施設		よく利用する施設	
		利用頻度	
		移動手段	
⑦鉄道について		利用頻度	
		利用する理由	
		利用しない理由	
⑧路線バスについて		利用頻度	
		利用する理由	
		満足度	
		利用しない理由	
⑨コミュニティバス・デマンドタクシーについて		利用頻度	
		利用する理由	
		満足度	
		利用しない理由	
⑩船舶について		利用頻度	
		利用する理由	
		利用しない理由	
⑪今後の公共交通について		今後の利用意向	
⑫自由意見			

2. 公共交通に係る関係者への意識調査

2.1. 関係者への意識調査の目的

関係者に対する公共交通の利用状況及び公共交通に対する意識や意見・要望等を把握します。

2.2. ヒアリング調査の概要

ヒアリング調査の概要を以下に示します。

項目	内容等
調査期間	令和5年11月頃
調査対象者	交通事業者、地域関係者、観光関係者、教育関係者、市関係部局
調査方法	・調査対象者全員を対象に、ヒアリングシート送付（郵送またはメール）による書面調査 ・ヒアリングシート回収後、一部関係者への対面調査

2.3. ヒアリング項目

対象者別のヒアリング項目は、下記のとおりです。

ヒアリング対象者		ヒアリング項目
大分類	小分類	
交通事業者	鉄道、バス、 タクシー、 船舶	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の公共交通に対する意見やニーズ ・現在の公共交通の問題と今後、想定される課題 ・課題の解決に向けた取組み ・運営や経営に関する将来の展望 ・交通事業者からみた公共交通に対する意見や要望 等
地域関係者	連合自治会の 4支部 等	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の公共交通の利用状況 ・各地区の公共交通に対する意見やニーズ ・各地区からみた公共交通に対する意見・要望 等
観光関係者	観光物産協会、 道の駅 等	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の公共交通の利用状況（コロナの影響や外国人の利用状況含む） ・観光客の公共交通に関する問合せの有無や内容 ・観光関係者からみた公共交通に対する意見・要望 等
教育関係者	小学校、 中学校、 中等教育学校 高校 等	<ul style="list-style-type: none"> ・通学者のバス利用状況 ・通学者のバスに対する意見やニーズ ・教育現場からみた公共交通に対する意見・要望 等
市関係部局	福祉関係 教育関係 観光関係 都市関係	<ul style="list-style-type: none"> ・所管施設等利用者の公共交通の利用状況 ・所管施設等利用者の公共交通に対する意見やニーズ ・公共交通が廃止された場合の影響・問題点 ・各課から見た公共交通に対する意見や要望 等

宇和島市の公共交通に関するアンケート調査票(案)

【 アンケートについて 】

本市では、人口減少や利用ニーズが変化していることもあり、本市の財政状況が厳しい中で、利用状況に応じた、持続可能な公共交通のあり方を検討することが求められており、市内の公共交通について市民の皆さんのニーズ等をお聞きし、今後の公共交通のあり方を検討する際に参考とするため、アンケート調査を実施します。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、本調査の回答にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【 ご記入にあたってのお願い 】

- ・ご回答は、この調査票に直接記入してください。
- ・アンケート調査票には、宛名のご本人の方と、同居のご家族の計4名までがお答えください。
- ・ご回答の際には、どの欄（回答者①～④）に誰が記入するかを決めて、該当する欄に同じ方がご記入ください。
(本人記入、または、代筆でも結構です)
- ・記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和5年11月〇日(〇)までに郵便ポストへ投函をお願いします。(切手は不要です。)

【 問い合わせ先 】

宇和島市役所 総務企画部 企画課 企画係

電話 (0895) 24-1111(代表) FAX (0895) 20-1905[月曜日から金曜日 8時30分から17時15分(土、日、祝を除く)]

【質問1】 お住まい等について

※質問1については、ご家族のうち、どなたかお一人が代表してお答えください。(該当するもの1つを選択)

1-1	お住まいの地域	1. 宇和島地区	2. 吉田地区	3. 三間地区	4. 津島地区			
1-2	世帯人数	1. 単身	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人以上	

1-3	自宅から最寄りの公共交通の乗降場所について			
①	路線の種類	1. 鉄道 2. 路線バス 3. コミュニティバス・デマンドタクシー 4. 船舶		
②	①で選んだ最寄りの乗降場所名	()		
③	②の乗降場所から自宅までの所要時間	1. 5分未満 2. 5分以上10分未満 3. 10分以上15分未満 4. 15分以上20分未満 5. 20分以上		

【質問2】 あなた自身のことについて

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。(該当するもの 1 つを選択)

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
2-1	性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答したくない				
2-2	年齢	1. 10歳未満 2. 10代 3. 20代 4. 30代 5. 40代 6. 50代 7. 60代 8. 70代 9. 80代以上				
2-3	職業など	1. 学生 2. 自営業者・会社経営者・農林漁業者 3. 会社員・公務員など(常勤) 4. パート・アルバイト・非常勤など(時間限定・臨時の仕事) 5. 収入を得る仕事はしていない(学生以外)				
2-4	自動車保有状況	1. 自分で自由に使える車がある 2. 家族で共同利用する車がある 3. 家族が運転し送迎してくれる車がある 4. 世帯に車は無い				

【質問3】運転免許証について

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。(該当するもの1つを選択)

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
3-1	運転免許の有無	1. 自動車運転免許あり 2. バイク・原付運転免許のみあり } 質問3-2へ 3. 運転免許を返納し、現在は持っていない } 4. もともと持っていない } 質問4 (p4) へ				

※3-1で「1」、「2」を選択された方 (該当するもの1つを選択)

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
3-2	運転免許証の返納メリットをご存じですか	1. 知っている 2. 知らない				
3-3	自主返納の考え	1. 近々、運転免許証を自主返納しようと考えている 2. 将来的には、運転免許証を自主返納しようと考えている 3. 運転免許証の自主返納は必要だと感じているが、 <u>返納できない(したくない)</u> 4. 運転免許証を自主返納する必要は無い 5. その他(具体的に)				

※3-3で「3」を選択された方 (該当するもの3つまで選択) (⇒3-3「3」以外を回答された方は、質問4 (p4) へお進みください)

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
3-4	運転免許証を返納できない(したくない)理由	1. 移動手段がまったく無くなるから 2. 自由に移動できなくなるから 3. 今よりも交通費が掛かりそうだから 4. 身分証明書として免許証が必要だから 5. 返納方法が分からないから 6. 念のために持っておきたいから 7. 返納による利点が無いから 8. その他(具体的に)				

【質問 4】 普段の生活での外出（通勤・通学・買物等）について

(1) 通勤・通学について

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
4-1	通勤・通学先を教えてください (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	1. 宇和島地区 2. 吉田地区 3. 三間地区 4. 津島地区 5. 鬼北町 6. 西予市 7. 愛南町 8. 八幡浜市 9. その他(市町村名を記入) 10. 通勤・通学はしていない → (2) 買物について (p5) へ				

※4-1で「1」～「9」と回答された方

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
4-2	頻度 (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 年数日				
4-3	移動手段 (該当するもの <u>全て</u> を選択)	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 車(自分で運転) 5. 車(家族や知人の送迎) 6. 施設等の送迎 7. 鉄道 8. 路線バス 9. タクシー 10. コミュニティバス・デマンドタクシー 11. 航路、自家用船 12. その他(具体的に)				

(2) 買物について

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
4-4	何か所くらいのお店へ買物に行かれますか (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	1. 1か所 2. 2か所 3. 2か所以上 4. 買物には行かない → (3) 通院について (p7) へ				

※4-4で「1」～「3」と回答された方

よく行かれる買物のお店(2か所)についてあなたの行動を教えてください(4-4「3」の2か所以上と回答された方は、頻度が高いもの2か所に絞ってお答えください)

■1か所目

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
4-5	買物先を教えてください (該当するもの <u>1つ</u> を選択) ※具体的な買物先は、どこまで買物に行かれているか知りたいので、選択肢のように店舗名に加え店名(○○店)もしくは、地区名等までお書きください	1. フジ宇和島店 2. フジグラン北宇和島 3. フジ宇和島南店 4. エースワン宇和島店 5. サンシャイン宇和島店 6. 道の駅ささいや広場 7. ドラッグストアコスモス 宇和島北店 8. フジ吉田店 9. きなはいや三万石 10. A コープみま店 11. 道の駅みま 12. ダイレックス伊予津島店 13. A コープつしま店 14. ドラッグセイムス宇和島津島店 15. 道の駅津島やすらぎの里 16. その他(具体的に*)				
4-6	頻度 (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 年数日				
4-7	移動手段 (該当するもの <u>全て</u> を選択)	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 車(自分で運転) 5. 車(家族や知人の送迎) 6. 施設等の送迎 7. 鉄道 8. 路線バス 9. タクシー 10. コミュニティバス・デマンドタクシー 11. 航路、自家用船 12. その他(具体的に)				

※4-4で「2」～「3」と回答された方（⇒4-4「1」の1か所と回答された方は、(3)通院について(p7)へお進みください)

■ 2か所目

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
4-8	<p>買物先を教えてください (該当するもの 1つを選択)</p> <p>※具体的な買物先は、 どこまで買物に行か れているか知りたいの で、選択肢のように店 舗名に加え店名(○○ 店)もしくは、地区名 等までお書きください</p>	<p>1. フジ宇和島店 2. フジグラン北宇和島 3. フジ宇和島南店 4. エースワン宇和島店 5. サンシャイン宇和島店 6. 道の駅きさいや広場 7. ドラッグストアコスモス 宇和島北店 8. フジ吉田店 9. きなはいや三万石 10. A コープみま店 11. 道の駅みま 12. ダイレックス伊予津島店 13. A コープつしま店 14. ドラッグセイムス宇和島津島店 15. 道の駅津島やすらぎの里 16. その他(具体的に※)</p>				
4-9	<p>頻度 (該当するもの 1つを選択)</p>	<p>1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 年数日</p>				
4-10	<p>移動手段 (該当するもの 全て選択)</p>	<p>1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 車(自分で運転) 5. 車(家族や知人の送迎) 6. 施設等の送迎 7. 鉄道 8. 路線バス 9. タクシー 10. コミュニティバス・デマ ンドタクシー 11. 航路、自家用船 12. その他(具体的に)</p>				

(3) 通院について

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
4-11	何か所くらいの病院へ通院されていますか (該当するもの <u>1</u> つを選択)	1. 1か所 2. 2か所 3. 2か所以上 4. 通院はしていない → (4) その他の行き先について (p9) へ				

※4-11で「1」～「3」と回答された方

よく通院されている病院 (2か所) についてあなたの行動を教えてください (4-11「3」の 2か所以上と回答された方は、頻度が高いもの2か所に絞ってお答えください)

■1か所目

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
4-12	通院先を教えてください (該当するもの <u>1</u> つを選択) ※具体的な通院先は、どこまで通院されているか知りたいので、選択肢のように病院名に加え、地区名等も併せてお書きください	1. ジェイコー宇和島病院 2. 宇和島徳洲会病院 3. 市立宇和島病院 4. 正光会宇和島病院 5. しませ医院 6. まずだクリニック 7. 市立吉田病院 8. 橋本内科クリニック 9. 水谷医院 10. 松崎クリニック 11. 市立津島病院 12. 口羽外科胃腸科医院 13. 永井内科医院 14. その他 (具体的に*)				
4-13	頻度 (該当するもの <u>1</u> つを選択)	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 年数日				
4-14	移動手段 (該当するもの <u>全て</u> を選択)	1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 車 (自分で運転) 5. 車 (家族や知人の送迎) 6. 施設等の送迎 7. 鉄道 8. 路線バス 9. タクシー 10. コミュニティバス・デマンドタクシー 11. 航路、自家用船 12. その他 (具体的に)				

※4-11で「2」～「3」と回答された方（⇒4-11「1」の1か所と回答された方は、(4) その他の行き先について (p9) へお進みください）

■ 2か所目

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
4-15	<p>通院先を教えてください (該当するもの 1つを選択)</p> <p>※具体的な通院先は、どこまで通院されているか知りたいので、選択肢のように病院名に加え、地区名等も併せてお書きください</p>	<p>1. ジェイコー宇和島病院 2. 宇和島徳洲会病院 3. 市立宇和島病院 4. 正光会宇和島病院 5. しませ医院 6. まずだクリニック 7. 市立吉田病院 8. 橋本内科クリニック 9. 水谷医院 10. 松崎クリニック 11. 市立津島病院 12. 口羽外科胃腸科医院 13. 永井内科医院 14. その他 (具体的に*)</p>				
4-16	<p>頻度 (該当するもの 1つを選択)</p>	<p>1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 年数日</p>				
4-17	<p>移動手段 (該当するもの 全て選択)</p>	<p>1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 車 (自分で運転) 5. 車 (家族や知人の送迎) 6. 施設等の送迎 7. 鉄道 8. 路線バス 9. タクシー 10. コミュニティバス・デマンドタクシー 11. 航路、自家用船 12. その他 (具体的に)</p>				

(4) その他の行き先について

通勤・通学、買物、通院以外によく行く場所（1か所）について教えてください。

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
4-18	<p>その他の行き先を教えてください (該当するもの <u>1つ</u>を選択)</p> <p>※具体的な場所は、どこまで行かれているのか知りたいので、選択肢のように、行先（施設名称等）に加え、地区名等がわかるようにお書きください</p>	<p>《宇和島地区》 1. 市役所 2. 市役所 蔭淵出張所 3. 市立図書館 4. 南予文化会館 5. 総合体育館 6. 道の駅きさいや広場</p> <p>《吉田地区》 7. 市役所 吉田支所 8. 吉田町ふれあい運動公園 9. 簡野道明記念吉田図書館 10. JA えひめ南 立間中央支所</p> <p>《三間地区》 11. 道の駅みま 12. 市役所 三間支所 13. コスモスホール三間 14. JA えひめ南 三間町支所</p> <p>《津島地区》 15. 道の駅津島やすらぎの里 16. 市役所 津島支所 17. 中央図書館 津島分館</p> <p>《他》 18. その他（具体的に*） 19. その他行く場所はない →質問 5 (p10) へ</p>				
4-19	<p>頻度 (該当するもの <u>1つ</u>を選択)</p>	<p>1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 年数日</p>				
4-20	<p>移動手段 (該当するもの <u>全て</u>選択)</p>	<p>1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 車（自分で運転） 5. 車（家族や知人の送迎） 6. 施設等の送迎 7. 鉄道 8. 路線バス 9. タクシー 10. コミュニティバス・デマンドタクシー 11. 航路、自家用船 12. その他（具体的に）</p>				

【質問5】公共交通について

(1) 鉄道について

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-1	利用頻度を教えてください (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 年数日 6. 利用しない → 質問5-3 へ				

※5-1で「1」～「5」と回答された方

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-2	利用する理由を教えてください (該当するもの <u>3つまで</u> 選択)	1. 行きたい場所まで行ける 2. 運行時間に不都合がない 3. 運行本数に不都合がない 4. 自宅から鉄道駅まで近い・行きやすい 5. 路線・時刻表等が分かりやすい 6. 運賃が適正だから 7. 他に移動手段が無いから 8. その他(具体的に)				

※5-1で「6」と回答された方

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-3	利用しない理由を教えてください (該当するもの <u>3つまで</u> 選択)	1. 行きたい場所まで行けない 2. 運行時間に不都合がある 3. 運行本数に不都合がある 4. 自宅から鉄道駅まで遠い・行きにくい 5. 路線・時刻表等が分かりにくい 6. 運賃が高すぎる 7. 他に移動手段がある 8. その他(具体的に)				

(2) 路線バス（宇和島自動車）について

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-4	利用頻度を教えてください (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 年数日 6. 利用しない → 質問5-7 (p12) へ				

※5-4で「1」～「5」と回答された方

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-5	利用する理由を教えてください (該当するもの <u>3つまで</u> 選択)	1. 行きたい場所まで行ける 2. 運行時間に不都合がない 3. 運行本数に不都合がない 4. 自宅からバス停まで近い・行きやすい 5. 路線・時刻表等が分かりやすい 6. 運賃が適正だから 7. 他に移動手段が無いから 8. その他（具体的に）				
5-6	右記 a～e の満足度について【選択肢】の中から選んでください (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	【選択肢】				
		1. 満足	a. 運行本数			
		2. やや満足	b. バス停までの交通手段			
		3. 普通	c. 運賃			
		4. やや不満	d. 鉄道やコミュニティバス等への接続			
5. 不満	e. 時刻表・路線図等の情報提供					

※5-4で「6」と回答された方

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-7	利用しない理由を教えてください (該当するもの <u>3つまで</u> 選択)	1. 行きたい場所まで行けない 2. 運行時間に不都合がある 3. 運行本数に不都合がある 4. 自宅からバス停まで遠い・行きにくい 5. 路線・時刻表等が分かりにくい 6. 運賃が高すぎる 7. 他に移動手段がある 8. 地域に路線バスは運行していない 9. その他(具体的に)				

(3) コミュニティバス、デマンドタクシーについて

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-8	利用頻度を教えてください (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 年数日 6. 利用しない → 質問5-11 (p14) へ				

※5-8で「1」～「5」と回答された方

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-9	利用する理由を教えてください (該当するもの <u>3つまで</u> 選択)	1. 行きたい場所まで行ける 2. 運行時間に不都合がない 3. 運行本数に不都合がない 4. 自宅からバス停まで近い・行きやすい 5. 路線・時刻表等が分かりやすい 6. 運賃が適正だから 7. 他に移動手段が無いから 8. その他(具体的に)				
5-10	右記a～eの満足度について【選択肢】の中から選んでください (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	【選択肢】				
		1. 満足	a. 運行本数			
		2. やや満足	b. バス停までの交通手段			
		3. 普通	c. 運賃			
		4. やや不満	d. 鉄道や路線バス等への接続			
5. 不満	e. 時刻表・路線図等の情報提供					

※5-8で「6」と回答された方

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-11	利用しない理由を教えてください (該当するもの <u>3つまで</u> 選択)	1. 行きたい場所まで行けない 2. 運行時間に不都合がある 3. 運行本数に不都合がある 4. 自宅からバス停まで遠い・行きにくい 5. 路線・時刻表等が分かりにくい 6. 運賃が高すぎる 7. 他に移動手段がある 8. 地域にコミュニティバス、デマンドタクシーは運行していない 9. その他(具体的に)				

(4) 船舶について

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-12	利用頻度を教えてください (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 年数日 6. 利用しない → 質問5-14へ				

※5-12で「1」～「5」と回答された方

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-13	利用する理由を教えてください (該当するもの <u>3つまで</u> 選択)	1. 行きたい場所まで行ける 2. 運行時間に不都合がない 3. 運行本数に不都合がない 4. 自宅から港まで近い・行きやすい 5. 航路・時刻表等が分かりやすい 6. 運賃が適正だから 7. 他に移動手段が無いから 8. その他(具体的に)				

※5-12で「6」と回答された方

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
5-14	利用しない理由を教えてください (該当するもの <u>3つまで</u> 選択)	1. 行きたい場所まで行けない 2. 運行時間に不都合がある 3. 運行本数に不都合がある 4. 自宅から港まで遠い・行きにくい 5. 航路・時刻表等が分かりにくい 6. 運賃が高すぎる 7. 他に移動手段がある 8. その他(具体的に)				

【質問6】 今後の公共交通の利用について

※全員お答えください。回答欄には、ご家族おひとりずつご記入ください。

番号	質問	選択肢	回答者①	回答者②	回答者③	回答者④
6-1	今後の利用について教えてください (該当するもの <u>1つ</u> を選択)	1. 現在も利用しており、将来も利用すると思う 2. 現在は利用していないが、将来は利用したいと思う 3. 現在も将来も利用しないと思う 4. わからない 5. その他(具体的に)				

【質問7】 公共交通に関して意見や要望

宇和島市の公共交通(路線バス、コミュニティバス・デマンドタクシー)に関して、ご意見やご要望がございましたらご自由にお書きください

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れ、**令和5年11月〇日(〇)まで**に郵便ポストへ投函をお願いいたします。(切手不要)

現計画の実施状況と評価・検証（案）

1. 現計画の実施状況と評価検証

現計画作成後の2019年7月から現在までの5年間の実施状況の評価するために、現在の実施状況を整理。

NO	事業	実施状況	評価	今後の検討課題	今後の方針(案)
			◎:充分実施 ○:一部実施 ×:未実施		
1	公共交通マップ、乗継時刻表の整備	<ul style="list-style-type: none"> 2020年に公共交通マップを作成し、ルートの変更等に合わせる必要に応じて更新してきた。また、紙媒体での配布（転入者、宇和島自動車(株)、JR宇和島駅、観光物産協会等）の他、市ホームページで情報提供を実施している。 なお、市全域を網羅した時刻表の作成は実施できておらず、乗継等については、路線区ごとで確認している。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通マップの作成を実施し、利用者の利便性の向上を図ってきた。 一方で、全市を網羅した時刻表の作成が未作成であり、検討が必要である。 	継続
2	乗り方教室、交通安全教室を通じた利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 通学にバスを利用する鶴島小学校の児童に対して、バス乗り方教室を継続的（R3年度以外）に実施してきた。今後は、バス利用が多い他の小学校にも実施を検討している。 なお、高齢者や自治会に対しては、乗り方教室等は実施していない。（2017年に老人クラブ等を対象に実施の実績はあり。） 	○	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の乗り方教室を継続的に実施し、今後は対象を広げるなど、利用促進を図ってきた。 一方で、高齢者や自治会に対する乗り方教室が未実施であり、検討が必要である。 	継続
3	路線の案内方法・情報発信方法の改善	<ul style="list-style-type: none"> 2020年に作成した公共交通マップの中で、路線バスとコミュニティバスの系統別の色分けを実施している。 2021年から路線バスとコミュニティバスのバス停ごとの時刻表を、インターネットの地図上（Google Map上）で閲覧が可能となる整備を実施している。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 系統別の色分けやインターネット地図上でのバス情報の閲覧など、利用者の利便性の向上を図ってきた。 今後は、利用者等の意見を踏まえ、実施内容の検証や改善が必要である。 	継続
4	イベント時等での公共交通利用を促進する情報発信方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> イベント時での公共交通を利用した来場方法の案内チラシ等の配布は未実施。 予土線駅前マルシェのイベントにおいて、JR予土線を利用した参加案内を実施。 	○	<ul style="list-style-type: none"> これまでイベント時の公共交通の来場方法案内チラシ配布等の情報発信が出来なかったため、今後はイベント時だけでなく、それ以外での利用方法の情報提供の検討も必要である。 	継続 (内容検討)
5	免許返納に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 宇和島市運転診断推進事業・宇和島市運転免許証返納支援事業を実施。 免許返納を促進するチラシ配布や免許返納による公共交通の割引対象拡大の取り組みは未実施。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、市内部の調整・連携を進め、免許返納の具体的な取り組みの検討が必要である。 	継続 (内容検討)

NO	事業	実施状況	評価 ◎:充分実施 ○:一部実施 ×:未実施	今後の検討課題	今後の方針(案)
6	交通結節点・乗継拠点の整備	・想定していたバス停上屋の整備について、場所や内容を調査し、整備効果を検討した結果、整備の必要性が高くなかったことから整備の実施に至らなかった。	×	・交通結節点・乗継拠点のハード整備はできなかったため、今後は、拠点でのソフト環境の整備の検討が必要である。	継続 (内容検討)
7	地域でバス等の待合空間を整備・維持管理できる仕組みの構築	・宇和島市公共交通利用者便益施設整備事業費補助金交付要綱を活用した整備を想定していたが、設置後の維持管理を含めた仕組みについて、構築が進まなかった。	×	・宇和島市公共交通利用者便益施設整備事業費補助金交付要綱を活用した整備や維持管理の仕組みの構築が出来なかったことから、今後は、住民の意見を含めた仕組み構築の検討が必要である。	継続 (内容検討)
8	バリアフリー化への対応	・車両購入時に、コミュニティバスは乗降ステップを備えたものを購入する等、車両のバリアフリー化に対応した取組みを実施している。	○	・バリアフリー化に対応した車両導入や道路側の対応を実施してきたことから、今後も、引き続き、対応を実施していく。	継続
9	モビリティ・マネジメントの実施	・事業1と連携し、転入者に対する公共交通等の情報提供を実施。 ・事業4と連携し、予土線駅前マルシェのイベントにおいて、JR予土線を利用した参加案内を実施。	○	・これまでイベント等を通じた公共交通の利用促進が出来なかったことから、今後はイベント時だけでなく、それ以外での利用促進方法の検討も必要である。	継続 (内容検討)
10	タクシー活用制度の構築	・タクシー事業に影響しない範囲での買い物代行等の「救援事業」を想定し、関係者による勉強会からの開始を考えていたが、取組みを実施していない。	×	・タクシーの「救援事業」の取組みが実施できなかったことから、今後は、タクシーの利用促進策を検討する必要がある。	見直し
11	バス路線網の再編	・2019年から愛媛県の南予地域再編実施計画に基づき、路線バスとコミュニティバスの再編を、継続的に実施している。	◎	・実施計画の再編を実施してきたことから、今後も、引き続き、再編対応を実施していく。	継続
12	地域主体で行うコミュニティバス等の取組を支援する仕組みの構築	・2023年7月から戸島地区において、地域モビリティの実証運行を開始しており、その結果を踏まえ、他地域への展開の可能性を検討していく。	○	・地域を支援する仕組み構築のため実証実験を実施していることから、今後は、実証実験の結果を検証し、他地域への展開等が可能な仕組みの構築を検討する必要がある。	継続
13	公共交通の利用状況に関する広報に関する取組の実施	・2021年からコミュニティバスの運行地区(吉田町、三間町、津島町)で、広報回覧と合わせて前年度の利用状況チラシを回覧するなど、広報を実施している。	◎	・利用状況の広報を実施してきたことから、今後も、引き続き実施を継続し、異なる方法での広報も検討する必要がある。	継続

NO	事業	実施状況	評価 ◎:充分実施 ○:一部実施 ×:未実施	今後の検討課題	今後の方針(案)
14	必要な路線への支援体制の検討	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度より、路線バス運行事業者への補助率を引き上げるなどして、公共交通が維持されるよう支援を行ってきた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、資金繰りが苦しくなった路線バス運行事業者からの要望を受け、前年度実績の1/2までを早期に概算払い可能なものとする市の補助金要綱を制定し、支援体制の充実を図ってきた。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 宇和島自動車への補助金要綱を改訂してきたことから、今後も、引き続き、支援体制の強化・充実の継続を実施していく。 	継続
15	運転士確保に向けた取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県地域公共交通網形成計画における事業である「運転人材確保に向けた広報・啓発」と連携し、学生向けに実施された「運輸のお仕事魅力発見バスツアー」の周知に協力している。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 県の事業への協力を実施してきたが、運転士確保には至っていないと思われる。 今後は、市独自の取組みなどの検討が必要である。 	継続 (内容再検討)
16	市の施策検討における交通事業者の参画に向けた仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない。 	×	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、市内部の調整・連携を進め、内容の見直しの検討が必要である。 	見直し
17	公共交通の利用者の意見を聞く場の創設	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない。 	×	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、市内部の調整・連携を進め、内容の見直しの検討が必要である。 	見直し
18	公共交通機関の役割分担と連絡調整に関する場の創設	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担と連絡調整に関する場の創設の検討は、実施していない。 なお、2022年に公共交通事業者へのヒアリングは実施。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、市内部の調整・連携を進め、内容の見直しの検討が必要である。 	見直し